令和 2 年第 1 回 定例会 五ヶ瀬町議会 会議録

開 会 令和 2 年 3 月 3 日
閉 会 令和 2 年 3 月 1 9 日

五 ヶ 瀬 町 議 会

1 目 目

令和2年第1回五ヶ瀬町議会定例会会議録

(初 日)
令和2年3月3日

○ 会議に付した事件

- 日程第 1. 会議録署名議員の指名
- 日程第 2. 会期の決定について
- 日程第 3. 諸般の報告
- 日程第 4. 行政報告並びに令和2年度施政方針
- 日程第 5. 議案第3号
固定資産評価審査委員会委員の選任同意について
- 日程第 6. 議案第4号
五ヶ瀬町男女共同参画社会づくり推進条例の制定について
- 日程第 7. 議案第5号
五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第 8. 議案第6号
公の施設に関する条例の一部改正について
- 日程第 9. 議案第7号
五ヶ瀬町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について
- 日程第10. 議案第8号
五ヶ瀬町簡易水道給水条例の一部改正について
- 日程第11. 議案第9号
平成31年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第5号)について
- 日程第12. 議案第10号
平成31年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)について
- 日程第13. 議案第11号
平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
- 日程第14. 議案第12号
平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)について
- 日程第15. 議案第13号
平成31年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算(第4号)について
- 日程第16. 議案第14号
令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算について
- 日程第17. 議案第15号
令和2年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計予算について
- 日程第18. 議案第16号
令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計予算について
- 日程第19. 議案第17号
令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計予算について
- 日程第20. 議案第18号
令和2年度五ヶ瀬町介護保険特別会計予算について
- 日程第21. 議案第19号
令和2年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計予算について

- 日程第 2 2 . 議案第 2 0 号
令和 2 年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算について
- 日程第 2 3 . 議案第 2 1 号
G パーク宿泊施設の指定管理者の指定の変更について
- 日程第 2 4 . 議案第 2 2 号
町長において専決処分をすることができる事項の指定の変更について
- 日程第 2 5 . 議案第 2 3 号
五ヶ瀬町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の認定について
- 日程第 2 6 . 議案第 2 4 号
定住自立圏形成協定の一部変更について

○ 出席議員（8名）

1 番 渡邊 孝 議員	2 番 佐藤 成志 議員
3 番 綾 健一 議員	4 番 秋本 良一 議員
5 番 白瀧 徹哉 議員	6 番 甲斐 松男 議員
7 番 小笠まゆみ 議員	9 番 甲斐 政國 議員

○ 欠席議員（なし）

○ 地方自治法第121条の規定により、事件説明のため出席を求められたものは、次のとおりである。

五ヶ瀬町長	原田 俊平
教 育 長	猪野 貴一
監 査 委 員	菊池 孝男

○ 町長の委任を受けて説明のため出席したものは、次のとおりである。

副 町 長	宮崎 信雄	農 林 課 長	廣本 憲史
総 務 課 長	戸高 勝洋	建 設 課 長	田原 昭生
企 画 課 長	小迫 幸弘	まちづくり推進室長	丸田喜久夫
会 計 室 長	北島 隆二	町 民 課 長	齊家 晃
教 育 次 長	甲斐津世志	福 祉 課 長	武内 秀元
病院事務長	奥村 和平		

○ 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	垣内 広好	書	記	西川 公香
--------	-------	---	---	-------

午後 2 時 02 分開会

○事務局長（垣内 広好君） 御起立ください。一同、礼。御着席ください。

開会前に、ただいまから本年度の町議会議員表彰を行います。

議長及び受賞者は、所定にお席にお着きください。

今回の表彰対象者は 3 名であります。ここで、受賞者の御功績を簡単に御紹介します。

まず、小笠まゆみ議員におかれましては、平成 27 年 8 月 1 日から令和元年 7 月 31 日までの 2 期 4 年間にわたり議長をお務めいただきました。

次に、甲斐松男議員と白瀧徹哉議員におかれましては、現在 3 期目で平成 21 年 8 月 1 日から現在まで 10 年以上、町議会議員の職をお務めであります。

以上の功績により、本日五ヶ瀬町議会議員表彰規定に基づく表彰を行うものであります。

それでは、表彰に移ります。議長より表彰状並びに記念品の贈呈をお願いいたします。受賞者は御一人ずつ前にお進みください。まず、小笠まゆみ議員、お願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 表彰状。小笠まゆみ殿。あなたは五ヶ瀬町議会議長として長年にわたり地方自治の発展に慎重に寄与されたその功績はまことに顕著であります。よって、ここに記念品を送り表彰します。令和 2 年 3 月 3 日。五ヶ瀬町議会。（拍手）

○事務局長（垣内 広好君） 次に、甲斐松男議員、お願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 表彰状。甲斐松男殿。あなたは五ヶ瀬町議会議員として 14 年地方自治の発展に慎重に寄与されたその功績はまことに顕著であります。よって、ここに記念品を送り表彰します。令和 2 年 3 月 3 日。五ヶ瀬町議会。（拍手）

○事務局長（垣内 広好君） 次に、白瀧徹哉議員、お願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 表彰状。白瀧徹哉殿。あなたは五ヶ瀬町議会議員として 14 年地方自治の発展に慎重に寄与されたその功績はまことに顕著であります。よって、ここに記念品を送り表彰します。令和 2 年 3 月 3 日。五ヶ瀬町議会。（拍手）

○事務局長（垣内 広好君） 以上で、表彰式を終わります。（拍手）

○議長（甲斐 政國君） ただいまから令和 2 年第 1 回五ヶ瀬町議会定例会を開会します。

本日の会議を開きます。

御報告します。本定例会において、タブレット端末の議場内使用を許可します。

次に、本日の会議に、事前に申請許可を受けたものに限り、取材及び場内写真撮影を許可します。

日程第 1. 会議録署名議員の指名

○議長（甲斐 政國君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、3番、綾健一議員、4番、秋本良一議員を指名します。

日程第2. 会期の決定について

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から19日までの17日間にしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日から19日までの17日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第3、諸般の報告を行います。

まず、議会活動報告を行います。

令和元年第4回定例会後の議会活動については、お手元に配付しております報告書のとおりですが、主なものについて報告いたします。

1月21日から22日に、九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会において、九州中央自動車道の整備促進について、提言活動を行いました。

21日は、九州地方整備局へ提言書を提出し、村山局長からは、熊本・宮崎・大分と3県市町村の議長団がこのような大勢で提言活動に来ることはかつてなかった。それだけ九州中央道に対する期待の度合いがうかがえる。そして、五ヶ瀬東一高千穂間は、調査・測量・設計を随時進めている。その後、用地買収に移り、用地が確保でき次第、工事に取りかかりたい。地元の協力が極めて重要である。また、北中島一矢部間は、順調ではあるが難所も多い。工事工程を詰めて早期開通を図りたい。蘇陽一五ヶ瀬間は、来年度の新規事業を2月から3月で決める。財務省との協議、やりとりをして新規事業化となる。などの回答をいただきました。

22日は、国土交通省を訪れ、技術総括審議官から日ごろからの御協力に感謝する。そして、防災・減災、国土強靱化に向け予算確保を協力的に進めている。九州中央道は、南海トラフ対応など防災の観点から重要な路線と位置づけている。との回答をいただきました。

また、2月13日から14日にかけて、西臼杵郡正副議長要望活動を行いました。

13日は、九州地方整備局の前佛道路部長に要望書を提出し、その後、前佛道路部長より、五ヶ瀬東一高千穂間については、用地調査を令和2年に入れればと思っている。地元の協力をお願い

いする。蘇陽一五ヶ瀬東間については、優先度は高い。今年度中に結論が出ると思われる。また、予算は国会で決まる。中央省庁に向けてもしっかりと要望してもらいたい。御支援を願う。などの回答をいただきました。

14日は、九州農政局、佐々木地方参事官に、中山間地域等直接支払制度等の継続について、有害鳥獣の被害防止対策強化について、要望書を提出し、佐々木参事官から、大変ありがたい場であると捉えている。地域の声を直接聞きたい。そしてそれに対するこちらの情報をお伝えする。とあり、中山間地域農業関係者の所得向上を目的とした施策及び助成については、補正予算での対応36億円、事前に市町村より要望をいただいている。また、中山間地域等直接支払交付金において、棚田地域振興活動加算があるが、地域振興活動計画を立てて認定をもらう必要がある。協定ごとには行わず町を一本化したほうがよいのではないかと助言をいただき、10割の交付単価を受けるためには、集落協定の広域化や集落機能強化が必要だ。また、棚田地域振興法において、勾配等の緩和措置がとられており、恒久法としては扱わず、5年ごとの見直しとなる。などの回答を受け、その後意見交換を行いました。

以上で、議会活動報告といたします。

次に、月例現金出納検査の結果につきましては、お手元に配付しております報告書写しのとおりであります。

これで、諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告並びに令和2年度施政方針

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第4、行政報告並びに令和2年度施政方針を行います。

町長から、行政報告並びに令和2年度施政方針の申し入れがありましたので、これを許します。町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。それでは、私のほうから行政報告並びに令和2年度施政方針について、御報告を申し上げます。

まずは、第5次五ヶ瀬町総合計画の検証及び第6次五ヶ瀬町総合計画策定状況について、行政報告をさせていただきます。

本町は、平成23年に施行しました第5次五ヶ瀬町総合計画に基づき、さまざまな施策を展開してまいりました。令和2年度、来年度で本総合計画が終期を迎えるために、今年度から第6次総合計画策定作業を行っております。現在までの進捗状況等を御報告させていただきます。

第5次総合計画については、「人の心を大切に作る町」をコンセプトとして、人間性回復のまちづくり、循環型・低炭素社会の実現及び分権型社会への対応、この3つを重点戦略と位置づけ、「ずっと五ヶ瀬、やっぱり五ヶ瀬、ありがとうあふれる笑顔」を合い言葉に町民と行政が一体と

なったまちづくりを進めております。

平成27年度には、国内外の社会情勢を反映し、後期計画の策定を行い、国の地方創生の取り組みに伴う、仕事の創出や子育て支援などの人口減少社会に歯どめをかける施策や平成27年12月に認定を受けました世界農業遺産に関する取り組みなど、近年の新たな展開に対応する施策等も盛り込み、取り組みを行ってまいりました。

本計画に基づき、10年間施策を展開してきたことで、住民主導型の地域づくりの意識、低炭素社会づくり意識の浸透が図られたものと考えており、人に優しいまちづくりに一定の成果があったものと感じております。

第5次総合計画の検証につきましては、前段で述べました施策進捗評価を毎年行っていることに加え、町民の皆様の意見の範囲を目的に、町内在住の中学生以上となる町民全員を対象にアンケート調査を実施しました。3,461人中2,388人、回収率68.99%でした。調査結果の概要につきましては、昨年11月26日の鞍岡地区を皮切りに、小学校区ごとにまちづくり報告会を開催し、幸せ度、住みよいか、住みにくいか、不安に感じていること、困っていること、愛着度、コミュニティー活動についてなど、地域別、年代別に御報告させていただきました。報告会には、4会場で198人の町民の皆様に御参加いただいております。本アンケートでは、まちづくりの御意見もたくさんいただき、第6次総合計画の各施策等に反映すべく検討を開始しております。詳細なアンケート結果につきましては、今年度中にホームページ等通じて公表を行います。

また、行政内部においては、第5次総合計画に対しての評価シート、それを踏まえた第6次総合計画に向けての未来シートを作成し、ヒアリングを現在実施しております。第6次総合計画の策定に向けては、アンケート結果、評価シートの反省点及び課題を踏まえ、新年度に総合計画審議会を立ち上げ、本格的な策定作業に入っております。

以上で、行政報告を終わります。新計画の策定に向けての御理解、御協力方よろしくお願いいたします。

次に、令和2年度に向けた施政方針並びに予算編成方針について御報告いたします。

私自身、平成30年5月29日より2期目の五ヶ瀬町の町政を担わせていただき、令和2年度でいよいよ3年目を迎えることとなります。その間、町民の皆様が安心して暮らせ笑顔があふれるようなまちづくりを目指し、先ほどの行政報告でも述べさせていただきましたが、第5次五ヶ瀬町総合計画の施策を中心に、できることから手を打ってきたところでございます。

特に、私自身の政策目標として掲げさせていただきました次なる4年間の思いの10項目につきましては、まだまだ不十分ではありますが、できるところからそれぞれに手はつけられたと感じているところであります。

新たな令和の時代のスタートとなります令和2年度についても、直面する人口減少問題にも正面から向き合い、考えられる全ての施策をそれぞれの事業効果を強く意識しながら、確実に実行してまいり所存であります。

まずは、農林業についてであります。今後の農林業経営者の高齢化や担い手不足の深刻化が予想されます。第5期の中山間地域等直接支払制度のスタートに合わせ、それぞれの立場の農業担い手の皆さんと積極的に意見交換を重ね、農地中間管理制度や人・農地プランの策定、さらには集落営農や農業法人化への課題や支援方法のあり方の協議を重ねてまいります。

また、本町の重点作物となります釜炒り茶やシイタケ、ブドウ等につきましては、徹底したブランド確立への支援を引き続き行ってまいります。その他、畜産振興対策についても繁殖雌牛の改良更新と頭数の増、さらには維持対策の検討をしてまいります。

次に、観光振興と地方創生についてであります。このことにつきましては、現在進めております域外からの収入を域内で回す仕組みを徹底して検討を進めてまいります。その中でも関係交流人口の創出としての合宿誘致対策やふるさと納税対策、ファンクラブの効率的な運営について、力を入れていこうと考えています。

それから、少子高齢化対策の一環として、地域自治の仕組みづくりも急務であります。鞍岡地区、坂本地区などをモデル地区として、集落支援員や地域おこし協力隊等を活用させていただき、地域自主組織化の検討を進めてまいります。

次に、定住促進と雇用対策についてであります。ここ数年、検討を進めてまいりました定住促進のための住宅整備については、公営住宅とは異なる形の住宅が必要であろうと考えております。まずは、モデル住宅の整備について、財政状況を十分に検討しながら進めてまいります。

次に、高齢者福祉と地域医療についてでございますが、新たに高齢者の保険事業と介護予防の一体的な実施を進め、病院の常勤医師の確保や今後の病院のあり方についても西臼杵3町のそれぞれの病院の役割分担を明確にし、隣町の蘇陽病院との連携も確保しながら郡内の医療関係の充実を目指してまいります。

次に、高速道路を含めたインフラ整備についてでございます。五ヶ瀬町内の九州中央自動車道につきましては、平成30年度に五ヶ瀬高千穂道路9.2キロメートルが事業化になり、実施設計、用地測量もほぼ終了し、今年度から用地取得が、また2年度から実施に用地対策が始まるとお聞きしております。先日の新聞等でも紹介されましたが、令和2年度からは、蘇陽五ヶ瀬道路の7.9キロメートルもいよいよ事業化が期待される段階となりました。このことを受け、本町としては、全面的な用地取得への協力と将来のストック効果としての道の駅等の可能性についても積極的に検討してまいります。

その他、主要地方道竹田五ヶ瀬線の夕塩土生の早期完成や国道503号飯干トンネルの調査

設計についても、議会の皆様や地元の皆様とともに、宮崎県等に対し強く働きかけを行っていきたいと思います。

最後に、教育についてでございますが、五ヶ瀬教育グランドビジョンを幼児からお年寄りまでが生涯にわたって、互いに学び続けることができる地域創造・循環型教育システムに成長させ、五ヶ瀬教育ビジョンについても、さらにスケールアップさせ、Society 5.0に対応する学校教育にとどまらない町全体が結びつきをさらに強めた取り組みを行ってまいります。

引き続き、令和2年度の予算編成方針について御報告いたします。

本町の自主財源であります町税は、給与所得、営業所得の増加により、平成30年度決算では、前年度を上回っておりますが、長期的に見れば減少してきており、また、滞納額も依然大きい状況であります。依存財源で最も金額の大きい地方交付税は、平成30年度は前年度から3,000万円減額され、平成31年度においても減額されております。さらに、トップランナー方式の導入など、地方財政制度の改革により、今後厳しさを増すことが予想されます。

一方、歳出では、扶助費、普通建設事業費が減少し、維持補修費、公債費、補助費等は増加しております。本町の公債費は、平成29年度借り入れ償還が始まったことなどにより、3億7,000万円程度になっておりますが、今後も行政経費等の歳出抑制に努め、引き続き、町債とのバランスを保つ必要がございます。

また、地方債残高も平成30年度末には28億100万円代まで縮減されるとともに、基金積立額は33億2,000万円程度に微増してきております。しかしながら、本町の財政状況は、地方交付税、交付金等に頼った構造的に脆弱で不安定な財政環境のもとにあることから、新年度での新庁舎建設、防災行政情報伝達システムの構築、さらには今後の防災・減災対策や公共施設の老朽化対策も控えており、長期的視点に立って、計画的に事業を推進し、持続可能な財政経営に努めなければならないと考えております。

一方、町民の皆さんの求める多種多様なニーズの大部分を細部にわたり行政が応え支えておりますが、過疎少子高齢化の中、行政のみでの対応は限界に達しようとしております。さらに、国の目指す社会保障制度の確立、地域社会の再生は、地方自治体への負担を大きくしようとしております。

そうした中、最小の経費で最大の効果を上げるべく行政、地域そして個人の役割分担を明確にして、協働の地域まちづくりを進めていかなければなりません。観光や前例にとらわれることなく、地域活性化に取り組み、来年度が目標年度であります第5次五ヶ瀬町総合計画を着実に推進できるように行政改革を引き続き実行していくものといたします。

新年度の予算案につきましては、後ほど具体的な提案理由等を説明させていただきますが、先ほど申し上げましたとおり、引き続き健全な財政運営を維持しつつ、人口減少、高齢化を初めと

します本町が抱える課題に的確に対応するとともに、将来を見据えた施策について積極的に展開してまいる覚悟でございます。

以上、行政報告並びに令和2年度の施政方針とさせていただきます。

○議長（甲斐 政國君） これで、行政報告並びに令和2年度施政方針は終わりました。

日程第5. 議案第3号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第5、議案第3号固定資産評価審査委員会委員の選任同意についてを議題とします。

本件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第3号固定資産評価審査委員会委員の選任同意について、提案理由の御説明を申し上げます。

今回の選任につきましては、固定資産評価審査委員会委員の任期満了によります選任であります。大字鞍岡、岩野秀子氏を再任いたしたく、地方税法423条第3項の規定により提案するものであります。なお、任期につきましては、令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間となっております。岩野氏の略歴につきましては、別紙のとおりでございます。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いします。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑がありましたら、どうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。本案は人事案件でありますので、討論を省略して採決したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。これから起立によって採決します。

議案第3号固定資産評価審査委員会委員の選任同意については、原案のとおり同意することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり同意することに決定しました。

日程第6. 議案第4号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第6、議案第4号五ヶ瀬町男女共同参画社会づくり推進条例

の制定についてを議題とします。

本件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第4号五ヶ瀬町男女共同参画社会づくり推進条例の制定について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件は、男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するために制定するものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願ひします。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

お諮りします。ただいまの件につきましては、本日は提案理由の説明までにとどめたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、本日は提案理由の説明までにとどめることに決定しました。

日程第7. 議案第5号

日程第8. 議案第6号

日程第9. 議案第7号

日程第10. 議案第8号

○議長（甲斐 政國君） 次に、お諮りします。日程第7、議案第5号五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正についてから日程第10、議案第8号五ヶ瀬町簡易水道給水条例の一部改正についてまでの4件は、これを一括議題としたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、日程第7、議案第5号から日程第10、議案第8号までの4件は、これを一括議題とすることに決定しました。

本4件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第5号五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について、提案理由の御説明を申し上げます。

今回の改正は、令和2年4月1日から施行されます五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例について、条例第3条及び第4条に定めます給料表、等級別基準職務表に新たな職種を追加するものでございます。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第6号公の施設に関する条例の一部改正について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件は、平成30年度地方創生拠点整備交付金事業による繰越事業を活用し、宿泊施設として改修を行いましたフォレストピア森林交流館をGパーク宿泊施設木地屋別館として位置づけるため、別表第1を改正するものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第7号五ヶ瀬町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件は、議案第6号において提案しましたGパークの宿泊施設として新たに位置づける木地屋別館の使用料について定めるため、別表を改正するものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第8号五ヶ瀬町簡易水道給水条例の一部改正について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件は、大石飲料水供給施設の供用開始に伴い、施設の区分並びに給水区域の変更を行うものであります。

また、水道料金について、消費税額の算定方法を加えるものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

お諮りします。ただいまの4件について、本日は提案理由の説明までにとどめたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、本日は提案理由の説明までにとどめることに決定しました。

日程第11. 議案第9号

日程第12. 議案第10号

日程第13. 議案第11号

日程第14. 議案第12号

日程第15. 議案第13号

○議長（甲斐 政國君） 次に、お諮りします。日程第11、議案第9号平成31年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（第5号）についてから日程第15、議案第13号平成31年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（第4号）についてまでの5件は、これを一括議題としたいと思います。こ

れに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、日程第11、議案第9号から日程第15、議案第13号までの5件は、これを一括議題とすることに決定しました。

本5件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第9号平成31年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（第5号）について、提案理由の御説明を申し上げます。

今回の補正は、年度末を控え、各事務事業がほぼ確定しつつあることによる予算の調整とデジタル防災行政無線整備工事、森林・林業再生基盤づくり交付金事業補助金の減額、国民健康保険病院繰出金、社会資本整備総合交付金事業の増額が主なものです。

歳入歳出予算の総額からそれぞれ2億3,000万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ47億6,300万円にするものです。

それでは1ページの第1表、歳入歳出予算補正の歳入の主なものについて御説明いたします。

国庫支出金は、保険基盤安定負担金、総務費国庫補助金の増、民生費国庫負担金、同国庫補助金、土木費国庫補助金等の減額です。県支出金は、民生費県負担金、同県補助金、衛生費県補助金、農林水産業費県補助金、土木費県補助金の減、災害復旧費県補助金等の増額です。財産収入は、不動産売り払い収入などの増額です。繰入金は、財政調整基金繰入金を減額します。町債では、総務債、商工債、災害復旧債を減額し、土木債を増額します。

次に2ページ、歳出の主なものについて説明いたします。

総務費では、デジタル防災行政無線整備工事請負費、新庁舎に係る測量設計委託料等の減額となります。民生費は、プレミアム商品券付き事業補助金、介護保険特別会計繰出金、児童手当等の減額です。衛生費は、国民健康保険病院への繰出金の増が主なものです。農林水産業費では、事業量等の確定により減額となります。商工費は、森林公園事業費の減額が主なものです。土木費は、道路新設改良費の増額が主なものです。教育費は、事業量等の確定により減額となります。災害復旧費の減は、各種事業等の確定に伴うものです。

次に4ページの第2表、繰越明許費をごらんください。

これは、新庁舎建設事業に係る立壁川暗渠化工事、社会資本総合整備交付金事業等の土木費各事業のうち、平成31年度内に事業の完了が見込めないものにつきまして、令和2年度に繰り越す予定の事業明細であります。

次に5ページの第3表、債務負担行為補正は、農業近代化資金利子補給事業の事業期間の変更及び限度額変更です。

次に6ページ、第4表、地方債補正をごらんください。

それぞれの事業費に対応した地方債借り入れ予定額を調整したものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

議案第10号平成31年度五ヶ瀬町簡易水道特別会計補正予算（第4号）について、提案理由の御説明を申し上げます。

歳入歳出予算の総額からそれぞれ81万7,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億2,257万1,000円とするものです。

まず、1ページの歳入につきましては、一般会計繰入金の減額と大石地区給水管布設等工事に伴う簡易水道債を増額するものです。

次に2ページの歳出ですが、光熱水費の不用額を減額し、大石地区給水管布設工事金額の不足分を増額するものです。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第11号平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について、提案理由の御説明を申し上げます。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,806万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億6,403万2,000円とするものです。

予算書1ページの歳入につきまして御説明いたします。

国庫支出金は、国民健康保険システムの改修に係る国庫補助金の増額です。県支出金は、国民健康保険保険給付費等交付金のうち、保険給付費の増額に伴う普通調整交付金の増額及び国民健康保険病院会計への繰出金の減額に伴う特別調整交付金の減額です。繰入金は、歳出における委託料の増額に合わせて、一般会計からの繰入金を増額しております。

予算書2ページの歳出について御説明いたします。

総務費は、国民健康保険システムの改修に係る委託料の増額です。保険給付費は、一般被保険者の療養給付費及び高額療養費を増額しております。諸支出金は、直営診療施設勘定繰出金の減額であります。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第12号平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算（第4号）について、提案理由の御説明を申し上げます。

今回の補正は、収益的収入及び支出の減額並びに資本的収入及び支出の減額を行うものです。

1ページ、予算第3条に定めました収益的収入の病院事業収益の医業収益を2,398万2,000円減額し、医業収益の総額を4億6,734万7,000円とし、医業外収益の町負担金を1,400万円増額するとともに、国保勘定繰入金を1万8,000円減額し、医業外収益の総額を1億3,205万9,000円とするものです。

支出は、2ページ、病院事業費用の医業費用のうち、給与費を950万円、経費を50万円減額し、医業費用の総額を5億9,840万6,000円とするものです。

3ページ、予算第4条に定めました資本的収入は9万2,000円減額し、総額を218万9,000円とするもので、内訳は繰入金のうち、国保事業勘定繰入金を減額するものです。

支出は、4ページ、資本的支出の建設改良費のうち、機械及び備品購入費を27万7,000円減額し、建設改良費の総額を926万1,000円にするものです。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第13号平成31年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（第4号）について、提案理由の御説明を申し上げます。

このたびの補正は、保険給付費の減額が主なものです。保険事業勘定の歳入歳出予算の総額から、それぞれ2,300万6,000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億9,325万6,000円とするものです。

1ページの歳入から御説明いたします。

保険料は、介護保険料の見込み額に応じ減額しております。国庫支出金は、介護給付費負担金の減額が主なものです。支払基金交付金については、介護給付費に係る交付金の減額が主なものです。県支出金についても、介護給付費に係る負担金の減額であります。繰入金は、介護給付費及び地域支援事業費について、一般会計繰入金の減額が主なものです。繰越金については、前年度繰越金を全額計上しております。諸収入については、第三者行為にかかわる損害賠償金及び高額介護サービス返納金が主なものです。

次に、2ページの歳出について御説明いたします。

総務費は、事務費の減額が主なものです。保険給付費については、給付費が抑えられたことによる減額です。地域支援事業費については、不用額についての減額が主なものです。諸支出金については、介護保険料の余剰金として見込まれる額について基金積立金への計上が主なものです。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

お諮りします。ただいまの5件について、本日は提案理由の説明までにとどめたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、本日は提案理由の説明までにとどめることに決定しました。

日程第16. 議案第14号

日程第17. 議案第15号

日程第18. 議案第16号

日程第19. 議案第17号

日程第20. 議案第18号

日程第21. 議案第19号

日程第22. 議案第20号

○議長（甲斐 政國君） 次に、お諮りします。日程第16、議案第14号令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算についてから日程第22、議案第20号令和2年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算についてまでの7件は、これを一括議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、日程第16、議案第14号から日程第22、議案第20号までの7件は、これを一括議題とすることに決定しました。

本7件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第14号令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算について、提案理由の御説明を申し上げます。

本町では、昨年末より令和2年度の予算編成作業を進めてまいりました。その結果、歳入歳出の予算総額は、それぞれ57億1,450万円、前年比22.66%の増となりました。

まず、歳入について主なものといたしましては、町税は、軽自動車税環境割等は増となったものの、町民税、固定資産税の減により1.22%減の2億9,750万5,000円、地方譲与税は、昨年度と同様の6,000万1,000円、地方交付税は、昨年度より8,000万円増額し、19億3,000万円を計上いたしました。国庫支出金は、民生費国庫負担金、災害復旧費国庫負担金等の減となったものの、土木費国庫補助金等の増により33.34%増の3億3,559万3,000円を計上、県支出金については、保険基盤安定負担金、民生費県補助金等は増となったものの、民生費県負担金、農林水産業費県補助金、災害復旧費県補助金等の減により、1.90%減の4億3,685万4,000円を計上しました。繰入金は、財政調整基金を昨年度より3,000万円減額し2億5,000万円、公共施設等整備基金を3億1,300万円増額し、63.12%増の7億2,556万4,000円を計上しました。諸収入は、貸付金元利収入を1,000万円増額し6,000万円、雑入を9,702万7,000円減額し、51.62%減の8,148万9,000円を計上しました。町債は、総務債、農林水産業債、商工債、土木債等を増額し、教育債、臨時財政対策債等を減額し、75.65%増の16億1,950万円を計上しております。

次に、歳出性質別予算について、人件費は9.57%増の9億2,985万2,000円となり、物件費は4.03%増の6億7,636万8,000円、維持補修費は43.59%減の1,297万5,000円を計上しました。扶助費は2.44%減の2億1,311万5,000円、補助費等は6.1%増の7億3,370万円、普通建設事業費が58.70%増の24億3,708万1,000円を計上しました。災害復旧費は82.03%減の560万円を計上しました。公債費は8.15%増の3億9,297万7,000円を計上しました。繰出金は、特別会計等への繰り出しが主なもので2.79%増の2億953万1,000円を計上しました。

次に、歳出について主なものといたしまして、総務費では、デジタル防災行政無線整備事業、新庁舎建設事業等に予算額は、前年比81.88%増の24億687万8,000円を計上しました。民生費は、各種福祉・給付事業、福祉センター屋根改修工事実施設計等に前年度比0.89%減の7億5,618万6,000円を計上しました。衛生費では、引き続き町民の健康維持増進の取り組み強化に前年比0.93%減の2億9,116万5,000円を計上しました。農林水産業費は、各生産組合等への支援事業、有害鳥獣被害対策関係事業、基盤整備事業等を引き続き取り組んでまいります。予算額は、農業振興費、林業振興費の減により、前年比0.66%減の6億3,304万4,000円を計上しました。商工費は、商工業者を支援として融資制度の補助、第三セクター貸付金及び森林公園事業等で前年比21.24%増の1億7,814万1,000円を計上しました。土木費は、地方創生道整備推進交付金事業及び社会資本整備総合交付金事業による町道・橋梁新設改良事業等で、前年比41.13%増の4億4,477万1,000円を計上しました。消防費は、広域消防本部負担金、消防団関係、防火水槽有蓋化事業等で、前年比11.95%増の1億2,020万9,000円を計上しました。教育費では、小中学校空調設備設置、町史編さん事業等で、前年比33.52%減の3億8,049万6,000円を計上しました。災害復旧費は、初期対応分586万円を計上いたしました。公債費は、前年比8.15%増の3億9,297万7,000円を計上しました。諸支出金は、五ヶ瀬町応援基金、森林環境譲与税基金を計上し、前年比0.52%減の3,800万円となりました。予備費は、昨年同額の500万円を計上しました。

以上、主な概要につきましては、御説明を申し上げますが、予算の詳細につきましては、委員会におきまして担当課長が御説明いたします。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第15号令和2年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計予算について、提案理由の御説明を申し上げます。

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億1,934万9,000円とするものです。

まず、1ページの歳入につきましては、給水工事負担金、町営簡易水道の水道使用料、組合営

簡易水道の水質検査手数料、一般会計繰入金及び町債を計上しております。

次に、2ページの歳出につきましては、簡易水道費として町営簡易水道の維持管理に必要な電気料、修繕料、水質検査手数料、施設保安管理に係る委託料、町管理水道施設の配水管整備等に係る工事請負費等を計上しております。また、公債費として償還金及び利子を計上しております。

主な概要については以上でございますが、詳細につきましては、委員会において担当課長が説明いたします。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第16号令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計予算について、提案理由の御説明を申し上げます。

町民の約3割が加入する国民健康保険は、国民皆保険制度の中核として重要な役割を担い、地域医療の確保と住民の健康管理、保持増進に努めております。今後も被保険者の方々が安心して良質でかつ効果的な医療を享受できるよう安定した事業運営を目指してまいります。令和2年度当初予算は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億5,644万5,000円といたします。

まず、歳入につきましては、主なものとしまして、国民健康保険税が1億1,168万9,000円、国庫補助金が138万5,000円、県からの交付金が4億7,103万円、一般会計からの繰入金で5,232万1,000円となっております。

歳出につきましては、主なものとしまして、総務費が1,980万4,000円、保険給付費が4億1,348万1,000円、県に納める国民健康保険事業費納付金が1億4,450万9,000円、特定健診などの保健事業費が918万円、国民健康保険病院事業会計への繰出金などの諸支出金が4,275万1,000円となっております。

なお、詳細につきましては、委員会において担当課長が御説明いたします。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第17号令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計予算について、提案理由の御説明を申し上げます。

令和2年度に予定される診療報酬改定では、来る人口減少社会に備えた将来の展望を見据え、全世代型社会保障の実現に向け、医療従事者の働き方改革、質の高い医療の実現、医療機能の分化・強化・連携と地域包括ケアの推進などが基本的視点とされ、診療報酬でプラス0.55%、薬価でマイナス0.99%、診療材料でマイナス0.02%と決定されました。

また、県が策定しました地域医療構想では、病院が地域における担うべく役割や持つべき病床機能、再編・ネットワーク化の取り組み等について、各医療施設ごとに今後の方針を明確化し、協議・調整することが求められております。

このような中、平成31年3月に西臼杵3町で設置しました西臼杵地域公立病院部会では、現

状分析・将来予測・問題点の整理作業もおおむね終了し、令和2年度からはより具体的に10年後、20年後の医療体制のあり方を検討していく段階に入っております。

医師の確保につきましては、非常に厳しい状況ではありますが、常勤医師並びに非常勤医師を確保し、現在の診療体制を維持するため、各大学病院並びに宮崎県等の関係機関にお願いするとともに、卒後臨床研修医や医学生等の研修受け入れを行い、将来の地域医療を担う医師の養成にも貢献したいと考えております。さらに、その他の医療従事者につきましても、適正な確保に努め、職員の資質向上とひいては医療機関として全体的な質の向上に努めてまいります。

そして、住民の命を守り、住民が安心して暮らしていけるよう病院運営に努めてまいり所存でございます。

それでは、予算案につきまして御説明をいたします。

2ページをごらんください。収益的収入及び支出につきましては、収益的収入が病院事業収益6億969万4,000円で、内訳は、医業収益5億4,161万7,000円、医業外収益6,807万7,000円であります。収益的支出は、病院事業費用が6億869万4,000円で、内訳は、医業費用6億120万2,000円、医業外費用699万1,000円、特別損失50万1,000円となっており、予備費を100万円とし、支出合計金額6億969万4,000円といたします。

3ページをごらんください。資本的収入及び支出につきましては、資本的収入が9,045万3,000円、内訳は、繰入金4,080万3,000円、企業債が4,965万円であります。資本的支出は1億4,460万円、内訳は、企業債償還金が5,083万2,000円、建設改良費が9,376万7,000円、公有財産購入費が1,000円となっております。なお、収支の不足分5,414万7,000円につきましては、当該年度の損益勘定留保資金で補填するものであります。

病院事業の予算案について説明を申し上げましたが、予算案の細部につきましては、委員会において事務長が説明をいたします。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

続いて、議案第18号令和2年度五ヶ瀬町介護保険特別会計予算について、提案理由の御説明を申し上げます。

令和2年度は、第7期介護保険事業計画の最終年度であるため、第7期計画の評価とともに第8期の事業計画策定の年でもあります。現段階では、見込んでいたほどの給付費の伸びはなく、安定した運営を行うことができしております。今後も、自立支援・重度化防止、また予防に向けた取り組み、医療・介護の連携の推進等、保険者機能の強化、そして互助・自助の視点も含めた地域包括ケアシステムの構築を引き続き推進していく必要があります。

保険事業勘定の令和2年度当初予算は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億1,832万7,000円とします。

1ページの第1表、歳入歳出予算の歳入から御説明いたします。

保険料は、65歳以上の第1号被保険者の保険料で、3年間の事業運営を見込んで決めています。基準保険料月額は、4,980円であります。国庫支出金は、保険給付費及び地域支援事業費のうち、国が負担する負担金と高齢者数の割合や所得の市町村格差を調整するための国からの調整交付金が主なものです。支払基金交付金は、医療保険者が徴収した2号被保険者の保険料を支払基金が各保険者に配分する交付金です。県支出金は、保険給付費及び地域支援事業のうち、県が負担する負担金及び交付金です。繰入金は、保険給付に係る町の負担金及び人件費並びに事務費等を一般会計繰入金で計上しております。また、諸収入は、地域支援事業の利用者一部負担金を計上しております。

次に、2ページの歳出について御説明いたします。

総務費は、人件費、事務費、介護認定審査会費及び計画策定に係る経費が主なものです。歳出総額の84%を占める保険給付費は、要介護認定者及び要支援認定者に係る在宅サービスや施設サービス、高額療養費等の費用であります。地域支援事業費は、地域包括支援センターの運営に係る費用、認知症総合支援事業のほか、介護予防・日常生活支援総合事業の費用等を計上しております。諸支出金は、介護サービス事業勘定の繰出金が主なものです。予備費につきましては、流動的な保険給付費への対応を見込み、前年度並みの額を計上しております。

続きまして、介護サービス事業勘定について説明いたします。

介護サービス事業勘定の令和2年度当初予算は、歳入歳出予算の総額を113万9,000円とします。

23ページの第1表歳入歳出予算の歳入から御説明いたします。

サービス収入は、要支援認定を受けている被保険者について、介護予防プラン作成に対する介護報酬です。繰入金は、サービス収入で不足する分を保険事業勘定から繰り入れるものです。

次に、24ページの歳出について御説明いたします。

総務費は、地域包括支援センターの指定介護予防支援事業に係る事務費を計上しております。サービス事業費は、介護予防プラン作成の一部を居宅介護支援事業所に委託する経費です。予備費につきましては、サービス事業費の流動的な対応を見込み計上しております。

詳細につきましては、委員会におきまして担当課長が説明いたします。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第19号令和2年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計予算について、提案理由の御説明を申し上げます。

後期高齢者の医療を支える後期高齢者医療制度につきましては、全国的な高齢化に伴い、毎年事業費が増加の一途をたどっております。そのような中、令和2年度も医療適正化事業や徴収対策を実施し、健全な事業運営を目指してまいります。

令和2年度当初予算は、歳入歳出の総額をそれぞれ5,813万1,000円とします。

まず、歳入につきましては、主なものとしまして、後期高齢者保険料が3,607万3,000円、一般会計からの繰入金1,910万円、諸収入のうち特定健康診査の受託事業収入が269万5,000円となっています。

歳出につきましては、主なものとしまして、総務費が44万円、後期高齢者医療広域連合納付金が5,473万3,000円、保険事業費が269万5,000円となっております。

なお、詳細につきましては、委員会におきまして担当課長が説明いたします。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

議案第20号五ヶ瀬町奨学金特別会計予算について、提案理由の御説明を申し上げます。

五ヶ瀬町奨学金特別会計につきましては、佐伯勝元氏からの寄附金を佐伯勝元教育基金として積み立て、その基金の一部を奨学金として制度化し運用しております。令和2年度の当初予算では、歳入歳出の総額を876万円とさせていただきました。

まず、歳入につきましては、繰入金876万円を計上しました。

次に、歳出では、貸付金費として、平成30年度採択分を300万円（5名分）、平成31年度採択分を276万円（4名分）、令和2年度採択分を300万円（5名分）とし、合計876万円を計上しました。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

お諮りします。ただいまの7件について、本日は提案理由の説明までにとどめたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、本日は提案理由の説明までにとどめることに決定しました。

日程第23. 議案第21号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第23、議案第21号Gパーク宿泊施設の指定管理者の指定の変更についてを議題とします。

本件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第21号Gパーク宿泊施設の指定管理者の指定の変更について、提

案理由の御説明を申し上げます。

本件は、Gパーク宿泊施設の設置目的をさらに効果的に達成する必要があるため、議案第6号において提案しましたGパーク宿泊施設別館を現在の指定管理者である株式会社五ヶ瀬ハイランド、代表取締役社長、原田俊平に追加して、管理を行わせたいので、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

お諮りします。ただいまの件につきましては、本日は提案理由の説明までにとどめたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、本日は提案理由の説明までにとどめることに決定しました。

日程第24 議案第22号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第24、議案第22号町長において専決処分することができる事項の指定の変更についてを議題とします。

本件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第22号町長において専決処分することができる事項の指定の変更について、提案理由の御説明を申し上げます。

本事項は、平成23年12月5日に議決されました町長において専決処分することができる事項の指定を変更するものであります。地方自治法第180条第1項の規定による五ヶ瀬町議会の権限の属する事項において、町長が専決処分することができる事項の指定について、請負契約を議決の趣旨に反しない範囲において変更する案件（変更に係る金額が500万円を超える金額の案件を除く）を、地方自治法第96条第1項第5号または第8号の規定に基づいて議決された契約額の10分の1以内の額と変更するものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

お諮りします。ただいまの件につきましては、本日は提案理由の説明までにとどめたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、本日は提案理由の説明までにとどめることに決定しました。

日程第 2 5 . 議案第 2 3 号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第 2 5、議案第 2 3 号五ヶ瀬町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の認定についてを議題とします。

本件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第 2 3 号五ヶ瀬町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の認定について、提案理由の御説明を申し上げます。

これまで本町では、辺地に係る公共的施設の総合整備のため、財政上の特別措置等に関する法律に基づき 5 年ごとに本計画を策定し、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の格差是正を図り、住民福祉の向上に寄与するため総合的に公共施設等の整備を実施してまいりました。今回、本町 6 辺地の現計画が今年度末で期間終了を迎えることから、新たに令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 カ年間計画を定めるため、議会の認定をいただくものであります。

本計画に基づいて実施される各種事業は、財源として辺地対策事業債が充当され、地方交付税についても特別措置が受けられるなど、本町の公共施設整備に多大な効果を上げております。なお、計画内容につきましては、同法第 3 条第 4 項により宮崎県との協議が終了しております。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

お諮りします。ただいまの件につきましては、本日は提案理由の説明までにとどめたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、本日は提案理由の説明までにとどめることに決定しました。

日程第 2 6 . 議案第 2 4 号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第 2 6、議案第 2 4 号定住自立圏形成協定の一部変更についてを議題とします。

本件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第 2 4 号定住自立圏形成協定の一部変更について、提案理由の御説明を申し上げます。

本案件は、平成 2 2 年 1 月に締結いたしました定住自立圏形成協定につきまして、今回延岡市との間において、福祉の取り組み項目内の障害者の支援体制の構築の内容の一部を変更いたしましたので、第 5 条の規定に基づき議会の議決を求めるものでございます。

以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） ただいま、提案理由の説明が終わりました。

お諮りします。ただいまの件につきまして、本日は提案理由の説明までにとどめたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、本日は提案理由の説明までにとどめることに決定しました。

○議長（甲斐 政國君） 以上で、本日の日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。次回は3月5日午前10時から開会しますので、定刻までに御参集ください。御苦労さまでした。

○事務局長（垣内 広好君） 御起立ください。一同、礼。お疲れ様でした。

午後3時23分散会

2 日 目

令和2年第1回五ヶ瀬町議会定例会会議録

(一般質問)
令和2年3月5日

○ 会議に付した事件

日程第1. 一般質問

○ 出席議員（8名）

1 番 渡邊 孝 議員	2 番 佐藤 成志 議員
3 番 綾 健一 議員	4 番 秋本 良一 議員
5 番 白瀧 徹哉 議員	6 番 甲斐 松男 議員
7 番 小笠まゆみ 議員	9 番 甲斐 政國 議員

○ 欠席議員（なし）

○ 地方自治法第121条の規定により、事件説明のため出席を求められたものは、次のとおりである。

五ヶ瀬町長 原田 俊平
教 育 長 猪野 貴一
監 査 委 員 菊池 孝男

○ 町長の委任を受けて説明のために出席したものは、次のとおりである。

副 町 長 宮崎 信雄	農 林 課 長 廣本 憲史
総 務 課 長 戸高 勝洋	建 設 課 長 田原 昭生
企 画 課 長 小迫 幸弘	まちづくり推進室長 丸田喜久夫
会 計 室 長 北島 隆二	町 民 課 長 齊家 晃
教 育 次 長 甲斐津世志	福 祉 課 長 武内 秀元
病院事務長 奥村 和平	

○ 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長 垣内 広好

午前10時07分開議

○事務局長（垣内 広好君） 御起立ください。一同礼。御着席ください。

○議長（甲斐 政國君） ただいまから本日の会議を開きます。

日程第1. 一般質問

○議長（甲斐 政國君） 日程第1、一般質問を行います。

質問の順序は、通告順に発言を許します。

初めに、4番、秋本良一議員、御登壇願います。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。通告に従い一般質問を行います。

第1次産業の五ヶ瀬町は、農業・林業主体の町であります。その農業と生活文化が長い歴史を育んできた阿蘇知保郷と言われている五ヶ瀬町は、山村文化の原形があるというふうに言われております。農村文化が漂う五ヶ瀬町の荒踊は、風流踊として全国23都道府県の37件を遺産とみなし、3月末に政府がユネスコ遺産として申請の提出を行うことが新聞でも記載がありました。2022年11月ごろに登録の可否が示されるとのこと、地元関係者の御労苦に敬意を表し、ぜひ無形文化遺産としてユネスコ登録されることをお祈りを申し上げます。

歴史文化の漂うすばらしい農村風景がある五ヶ瀬町、未来を見つめて次の2点について一般質問を行います。

1点目でございます。ジビエの利活用計画について。

鳥獣害対策が全国的に進められております。また、獣肉の利活用も既に軌道に乗っている自治体も多くあります。五ヶ瀬町も十数年前より、農作物中心に被害がふえ続けており、対策は行われておるが、ジビエとしての活用は方向性が見えていない現状であります。今後の取り組みについてお伺いをいたします。

続いて、2点目でございます。集約化農業の計画についてお尋ねします。

第1次産業、農業・林業、特に農業は、高齢化社会、人口減少の時代を迎え、担い手不足が深刻な事態となっております。気象変動による温暖化傾向ではありますが、比較的冷涼な環境で適した栽培が可能と考えられます。

現在の農地面積を圃場整備し、集約化することによる耕作面積の拡大を図ることが未来の農業へとつながると思うが、考えをお伺いいたします。

それでは、1点目のジビエの利活用計画について御答弁をお願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。秋本良一議員からのジビエの利活用計画についての御質問に、私のほうからまずお答えいたします。

議員御指摘のとおり、これまで獣肉利活用方針についてとしまして、平成27年の第3回から平成28年の第1回、さらには平成29年第1回の定例議会一般質問におきまして、御質問をいただいております。

依然として獣肉の利活用につきましては、全国的な課題でありまして、県内外の市町村で取り組みがなされ、近隣の旧清和村や日之影町の取り組みにつきましても、担当レベルで視察研修を行うなど、情報収集にこれまで努めているところでございます。

現時点でも町営の処理加工施設の計画は当面ございませんが、これまでの答弁のとおり、団体、個人での施設整備に関する自発性による要望等が上がってくれば、補助事業の導入等による支援体制には変わりはないところでございます。

捕獲、獣肉等の支援の利活用につきましては、猟友会鞍岡支部での取り組みとしまして、地方創生推進交付金を活用しまして、平成30年度より、また今年度にかけて、ジビエ料理のレシピ作成や料理の研究、販売促進のためのラベル作成、革の利用を目的とした加工用具等の備品購入などへの補助を行っております。

また、議員御指摘のとおり、2月に五ヶ瀬町有害鳥獣対策協議会を開催し、ジビエに対する取り組みについての方向性の協議を行った結果、有害獣の利活用を目的に、関係する機関との協議を今後、進めることとなったところでございます。

今後は、農林課並びに、あわせて企画課と連携し、獣肉の利活用の可能性を研究する取り組みを前に進めていきたいと考えているところでございます。

具体的な今後の取り組みにつきましては、一問一答にて担当課の農林課長または必要において企画課長、私のほうから回答いたします。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。今、町長の答弁の中で、今までの経緯の御答弁をいただきました。今回につきましては、本当、事実等分析したような形で質問をさせていただきたいというふうに思っております。

まず、鳥獣害対策の強化につきましては、作物から守るためのフェンス等の設置、有害捕獲の両面から対策をされているというふうに思いますが、今回は有害獣の捕獲につきまして質問をさせていただきます。

まず、過去5年間の作物別の被害の実態を教えてくださいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。秋本良一議員の御質問にお答えさせていただきます。

毎年、農林課で行っております調査資料によりますと、農作物の被害につきましては、平成26年が3,250万、平成27年度が3,135万4,000円、平成28年度は2,527万8,000円、平成29年度、2,374万4,000円、平成30年度につきましては1,941万3,000円ということで、5年間で1,387万円の減少の傾向であります。作物別では、稲の被害が大きく、鳥獣別では、イノシシの被害が大きい状況でございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。ただいま5年間で1,308万7,000円の減少傾向という御説明でございましたが、この被害額減少につきましては、耕作放棄地のほうがふえているということも私は考えるわけでありますが、それについては、どういうふうに思われますか。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 例年、耕作放棄地がふえているということもございますので、耕作放棄地になれば被害額としてここに計上されてこないのが、影響があるとは考えますけれども、実情の数字については把握していない状況でございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 次に、5カ年の有害鳥獣の捕獲頭数を獣害別に御説明いただきたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。主に被害の大きい鹿、イノシシの捕獲数に限ってお答えしますと、平成26年、1,468頭、27年が1,734頭、平成28年が1,479頭、平成29年、1,250頭、平成30年には1,517頭であり、増減がございます。平均しますと1,490頭であります。また、平成31年の2月20日現在では1,540頭という状況でございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 平均、年間しますと1,490頭、大体1,500頭が捕獲されているということでございます。これを資源と考えていくのかどうかというところが重要ではないかというふうに思うわけでございます。

そのことにつきまして、今から質問に入っていきたいというふうに思っておりますが、その前に、捕獲支援の補助金は年間にどのぐらい支払われているのか。また、それと、その補助金の用途については、有効に価値ある補助金として使われているのかということでお尋ねしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。捕獲に対する補助金としましては、今年度は予算が1,760万円の補助金となっております。平成30年度は1,544万7,000円の実績となっているというところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 補助金の内容については、お答えいただきましたが、私の察するところでございますが、有効に価値ある補助金として利用されているだろうというふうに認識をしていきたいと思っております。

次に、捕獲指導員体制についてお尋ねいたします。

捕獲者と農家との連携についての実態を教えてくださいと思いますが、また、あわせて、課題等があればお尋ねしたいと思っております。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。本町の捕獲指導員につきましては、現在1名体制ということです。有害鳥獣の捕獲班につきましては、5班体制となっております。連携等につきましては、通常、被害を受けた農家さんから直接捕獲班とか指導員のほうへ連絡があることもありますけれども、通常は役場のほうに連絡が入り、役場のほうから捕獲班長へ連絡を行っておるところでございます。捕獲班が対応できない場合とかは、緊急な場合など、捕獲指導員のほうへ連絡する体制ということになっております。

課題としましては、捕獲指導員のほうからも、町内全域の対応は範囲的に厳しいという意見等も伺っているところでございますけれども、猟友会のほうとか、捕獲班との関係機関等の協議が必要でございまして、そちらの協議推進が課題かなということで考えておるところでございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 秋本良一議員、できれば、いわゆる質問事項に対してのジビエのところに限定してやっていただければ。有害鳥獣のことについては、十分わかる、関連では認めますけれども、できればジビエ活用計画についてというところで御質問いただければというふうに思います。よろしく申し上げます。

○議員（4番 秋本 良一君） わかりました。時間の都合もあるということでございますので。今の答えといたしますか、今の答弁に対してでありますけれども、捕獲指導員のほうが本当に1名では不足ということでございますので、ぜひ早急に対応していただきたいというふうに思っております。

今の獣肉の処理について、それから、ほかの自治体では、猟友会と連携して獣肉の利用、活用

を進めているという情報も入っておりますし、見ておるところであります、商売として利活用するためには、処理施設等の処理技術の問題をクリアしなければならないというふうに思っております。その処理施設を整備した自治体でも、それぞれ規模が違うわけでありまして、町内でも捕獲された害獣のほとんどを処理するためには、相当な施設が必要になるのではないかとこのように思っております。当然、予算を必要ということになるとは思いますが、先ほど町長の答弁にもございましたが、施設設定の考えにつきまして、現在は御存じのとおり、鞍岡で1店舗といえますか、そこでやっておるところでございますが、1,500頭をないものにするか、資源とするかということで、先ほどお尋ねをしたと思っておりますけれども、そうしたこともございまして、今後、またどういった対応をなされていくのか、そういうことで質問したいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。有害鳥獣対策での獣肉の処理につきましては、埋設処理されるか、持ち帰って処理されるかという状況でございまして、他の自治体ではということで、有害鳥獣対策協議会での議論を踏まえてお話をしますと、大規模な施設を建設する考えは現時点ないということでございます。

それから、厚生労働省の野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針というガイドラインや、現在では、国の国産ジビエ認証制度もスタートしておりまして、相当高いレベルでの処理をしたものでなければ活用できない、太刀打ちできない状況もございまして。大量の肉を流通に乗せて売っていくということは、現在の状況では大変厳しいかと考えているところです。ただ、地区の資源としてジビエを活用して、地産地消の観点からも可能性を探っていききたいということで考えているところです。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。このジビエに関してでございますが、近隣町村との広域連携もということで、先ほど町長の答弁にもございましたが、それについて質問したいというふうに思っております。

現在、最近聞いた話であります、日之影の処理場からイノシシの捕獲したものを取りに来てもらっているという話も聞いております。そうしたものを踏まえて、近隣町村との広域な連携ということについて、どんなふうにお考えでしょうか。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。近隣では、旧清和村に設置をいたした施設でございます。現在は他の自治体からの受け入れは行われていないようでございます。

しかし、本町における衛生基準に基づく処理技術の向上が図られることは、広域的な体制整備が図られることにより、今後、広域の連携が期待されるところではないかと考えているところで

ございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。近隣町村での連携というのが期待されるということでございましたが、当然、五ヶ瀬町の場合には、熊本県等の隣接をしておるわけでございまして、高千穂のほうの一つの例をとりますと、高千穂、竹田、高森の3市町で地域鳥獣害防止広域対策協議会というのが平成19年に立ち上がっておるようでございます。ぜひこの点につきましても、五ヶ瀬町、特に熊本県山都町との広域連携も必要ではないかなというふうに思っておりますので、これにつきましても御検討をいただきますというか、ぜひこうした連携を立ち上げていくほうが鳥獣害の対策にもつながりますし、また、先ほど町長の答弁もございましたが、このジビエの利用につきましても、そうした連携が重要になってくるのではないかなというふうに思っておりますのでございます。

そこで、ジビエ料理につきましても課題をお尋ねしたいと思っております。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 昔から各家庭でジビエを使った料理は行われておりまして、煮物にしたり焼いたりということで食されてきているかと思えます。個体によりかたさやにおいの問題もありまして、昔ほど食べられていない、食されていないという現状もあるかと考えております。

現在、ジビエ料理としまして提供されるお店の共通点につきましては、きちんと捕獲した物を適切な処理を衛生的に行いまして、血抜き等を行いまして、料理は低温調理でやわらかな料理に仕上げていくというような形で進められているようです。

そうしたおいしい料理が人気を出してきているようでございまして、今後も注目されていくものと考えているところであります。一般的には、猟師料理のような、臭みを消したかたい肉ではないのではないかと考えているところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 課題として今、御答弁をいただきました。今、地元の猟師さんの動きからしますと、現在、捕獲してから解体処理方法、そしてまた肉の販売等についてもそうでもありますけれども、現在やっていらっしゃる取り組みとしては、それが一番最高のものだというふうに考えていらっしゃる点もあると思えます。ほかのところ、試食等々させていただいた場合、まだまだ勉強をしなければならないんじゃないかなというふうに、私、個人的に思うところもあるわけではありますが、そうしたことにつきまして、研修視察とか、そうしたような考えというのはないでしょうか。今の猟師さんたちのやり方が悪いという意味じゃないんですけども、も

っと上に磨いてほしいという気持ちがあつての質問ですけれど。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 確かに議員がおっしゃられるとおり、今の状況では、やっぱりおいが出たりという状況になっておると思います。

この前、企画のほうの御紹介で、福岡のほうの料理をいただいたんですけども、やはり徹底した管理のもと、血抜きを徹底したもので、臭みを消した品質の高いものを提供するということが重要だと考えますので、そういった進んでいる先進地の技術を猟友会の方々に学んでいただいて、ジビエ料理の推進をしていかなければいけないと考えているところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本です。そうした研修等も重ねてやっていくということでございますので、ぜひそういった取り組みをお願いしたいと思います。

そこで、鹿肉とシシ肉の栄養的な特徴が、わかる範囲で結構でございますので、ほかの牛とか豚とかの肉との比較というのがわかれば、ぜひお願いしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 鹿肉と牛の比較ですけども、100グラム中ですが、鹿、脂質4グラム、鉄3.9グラム、ビタミン0.35グラム、牛につきましては、脂質が10.7グラム、鉄2.8グラム、ビタミン0.22グラムということで、シシにつきましては、鉄が2.5グラム、亜鉛が3.5グラム、ビタミンB12が1.7グラムと。豚につきましては、鉄0.3グラム、亜鉛1.6グラム、ビタミンB12が0.3グラムということで、鉄分も吸収力がよい鉄であるということ聞いておるところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本です。今、御説明がございましたが、栄養的な特徴を考えると、まさにヘルシーで、しかもたんぱく質、そしてスポーツ選手や高齢者の方の食事には大変適しておるというふうに思っておりますが、こちらを利用することによって、宿泊施設の合宿受け入れ等にもつながる可能性が大いにあると思っておりますが、その点についてどう思われますでしょうか。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） スポーツ性貧血には効果があるのかと考えるとございませう。たんぱく質摂取量が多いほど筋肉量も多くなるという結果が出ておりますので、高齢者向けに調理法を工夫して摂取いただくことで、高齢者の健康に貢献するということも可能かと思われませう。

ただ、家畜と違いまして、ジビエには病原体等のリスクがございますので、安全性について相

当注意が必要になってくるかと思えます。また、合宿等の活用については、大変効果がいいのかなという考えを持っておるところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本です。

次に、獣肉の解体処理施設及び食肉販売の支援についてはどのようにお考えなのか。それと、先ほど申し上げましたが、合宿等につきましての利用等はできるかというふうに思っておりますので、町のジビエブランドとして今後、利活用ができるように進めていただきたいと思います。その点につきましてお尋ねしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 平成30年度から、先ほど町長も御説明しましたけども、地方創生交付金を活用しまして販売のシール等、加工用品の器具の整備等支援を行っているところでございます。

令和2年度につきましては、農林課としましては、狩猟のセンサー等の機器の購入に対する補助申請を行いたいなど計画しているところでございます。

また、宿泊施設等についての御質問につきましてですけれども、衛生基準上の基準がありますし、それをクリアすることが今後、重要であると考えているところであります。そのためにも、鹿やイノシシの捕獲から解体までの技術向上を初め、料理方法など、ジビエ料理としまして提供するまでの研修等を重ねて、関係機関と共通認識を持った形で、よい獣肉をおいしい料理として提供していかなければと、それが大切ではないかと考えているところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。今、御答弁いただきましたが、そういった形で、大きな施設、大々的な施設ではなくても、小さな施設で取り組みができるというふうに思っておりますので、ぜひとも研修を重ねられて、五ヶ瀬のジビエブランドとして取り組まれていきますように強くお願いをいたしまして、1点目の質問を終わりたいと思います。

続いて、2点目の質問についてお答えをお願いしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。2点目の質問の前に、先ほどジビエの関係、秋本良一議員もともに先日、企画課長の配慮で福岡のジビエの試食会を鞍岡でやらせていただきましたが、本当、牛肉に劣らず、またレシピのメニューも、やっぱりこういうもんなんだなって痛感しつつ、試食会に参加させていただいたところでございます。先ほど農林課長からありましたとおり、低カロリー、高たんぱくということで、特にスポーツ合宿等の利活用は十分考えられるんじゃないかというのも考えていまして、今後、令和2年度からそういう調査研究にも入っていきいたいなど、施設

建設とは別に、こういうようなことを思っております。済みません、補足して回答させていただきます。

じゃ、2点目の集約農業の計画についての御質問に、まず私のほうから答弁させていただきます。

本町は農林業が基幹産業でありまして、水稻栽培を中心に、畜産とか果樹、野菜、お茶やシイタケの特用作物、それから、花卉、果樹などを組み合わせた複合経営が主なテーマとなっております。

近年、農業を取り巻く状況は、全国的な人口減少とか、少子高齢化等により、農業の担い手不足や労働力不足、耕作放棄地の増加、それから、先ほど申しました有害獣等の被害等、非常に厳しさを増してきているところでございます。

これまで本町では、地域の特性と自然条件を生かした労働集約型で高付加価値の農林水産物の生産を推進するとともに、認定農業者やいろんな拡大化への支援、それから地域の担い手への優良農地の集積を図り、農業経営の所得向上と経営安定化を目指した取り組みをしてきたところであります。また、さまざまな要望、必要性に応じて、小規模な基盤整備についても、2筆を1枚にするとか、そういった町単事業も含めて進めてきたところでございます。

議員御指摘のとおり、集約農業、基盤整備については、これまでも私自身、やりたいなという思いは今でも持ち続けております。

しかしながら、大規模な基盤整備につきましても、利便性の向上による労働力の時間短縮とか、経費の節減、耕作面積の拡大などなどの大きな期待がされますが、本町の持つ棚田とか、そういった地形条件とか、負担金を初め、事業のしっかりとした投資効果、経営分析のもと、慎重にやはり農家の方々、当然、行政もですが、検討を進めていかなければならないと考えております。

具体的な取り組みにつきましても、農林課長のほう、また私のほうから一問一答にて答弁をさせていただきます。

まずは私のほうから以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。今、人口減少に伴う、それから鳥獣害等につきましても、農業が減少しているというお話でございました。

ここで、農業に従事されている人が減ってきている。また、それには農業労働と収入、つまり見返りがどの程度あるのかなということ、そこ辺のところが大きなことになるのかなというふうに思っていますが。

まず、農業に従事されている人が減ってきております。そして農業の労働者と収入、つまり見返りをどう捉えているかということで、まず質問をしたいと思っております。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。秋本良一議員の御質問にお答えさせていただきたいと思ひます。

全国的な人口減少に伴いまして、本町の農業従事者も減少している現状は、重要な課題だと認識しているところでございます。

本町で土地条件のよい地域と比べますと、労働力に対する収入は低いと思ひられます。そのため、その収益性を上げられるような取り組みが必要ではないかと考えておるところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） おっしゃるように、収益性を高めることが、上げられることが一番大事ではないかというふうに思っております。

今の現状からしますと、耕作面積に対する生産コストがはるかに高いというふうに思っております。ところでありますが、収益の上がる取り組みを進めていくということでございますけれども、これに対してどのような施策がありますか、ちょっとお尋ねしたいというふうに思っております。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。本町は地形的な条件も重なりまして、平地の広がる他の市町とは違ひまして、小規模な耕地面積であることから、生産コストが高いと思ひられます。

このことから、本町では、これまでもJA等の関係機関との連携を行ひまして、中山間地の土地や気象条件等に合った作物を導入してきて、それを販売していくと。1反当たりの収益性が上がるような取り組みを進めてきたと考えているところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 次に、用水路とか農道等の管理面については、十分ではないんじゃないかというふうなところも見受けられますが、それについてどういうふうにお考えでしょうか。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。管理面につきましては、中山間直接支払制度の活用により、協定ごとに話し合いにより用水路、農道等の管理を進めてきているところでございます。

高齢化等の問題点もありますけれども、本制度の有効利用を図るためにも、今後も優良事例等の情報等を収集しながら、お伝えしながら、5期対策もございまして、それに取り組んでいければと思ひているところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 5期対策のほうで取り組んでいくということで、ぜひとも、そうした現場をまた認識していただきまして、取り組んでほしいというふうに思っております。

す。

次に、耕作放棄地、遊休農地がふえている要因についてお尋ねしたいというふうに思っています。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 耕作放棄地の状況につきましては、センサスのほうの結果にて御説明させていただきますけれども、27年度のセンサスにつきましては、30.19ヘクタールとなっております。農業委員会のほうでも毎年調査を行っておりますけれども、毎年増加傾向で推移している状況でございます。

その要因としましては、耕作者の高齢化等により、山間部の耕作条件が悪い土地など、有害鳥獣の被害も多いということから、農地としての管理が厳しい状況が増加している原因ではないかと考えているところです。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本です。今、遊休農地がふえている要因ということで説明いただきましたが、現在、1枚当たりの耕作面積を拡大していきますと、機械力も有効になり、生産力も上がり、収入も見込めるというふうに思っておりますが、まずは経営の安定を図るためにも集約化は重要だというふうに私は思いますが、いかがでしょうか、お尋ねしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 1枚の耕作面積を拡大することで、機械等の利便性は大変よくなると思います。生産量等も上がってくると思われるところでございます。

しかしながら、大型機械への更新、またハウス等の施設整備とか、生産した作物の販売価格の推移などが影響すると思われまして、事業の、先ほど町長のほうから話がありましたとおり、負担金等も発生するのではないかと思われます。その投資等を考えますと、農業経営的には一概に判断しづらい面もあるかなと思っております。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） そういった集約化に向けた計画を進めていただきたいというふうに思っておりますが、まず、周辺の地権者の理解が必要になるというふうに思っておりますが、そうしたことにつきまして、各そういった要請とかがあるところにつきましては、出向いていつて、そういった説明というのは、今までしたことがありますでしょうか。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 集約化に向けた計画につきましては、農業を継続するためにも、中心経営体とか、認定農業者、新規就農者等の担い手の農地集積は必要だと考えているところでございます。

先ほどございました圃場整備等の、耕作面積を拡大していく取り組みにつきましては、大規模な整備は慎重な協議が必要かと考えているところです。

それから、地権者の理解につきましては、周辺農地の地権者等を含めまして、理解が不可欠だと考えております。

しかしながら、先ほども述べましたとおり、そういった推進につきましては、慎重な検討が今後、必要かと考えているところであります。

農業委員会組織としても、農地利用の最適化の推進を図るということもありますので、今後、農業委員さんの御協力をいただく上で、農地の集約については話し合いを推進していかなければいけないと思っているところでございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本です。

まず、そうした集約化につきましてはモデル地区としての選定をされてはどうかというふうに思っておるところであります。国の方針では、圃場整備が1団地当たり、大規模な面積じゃありません。令和2年度からであります。10ヘクタールに規模を縮小して計画をしているという情報も聞いております。

また、隣の山都町におきましては、農地換地と申しますか、近くの農地同士でかえていく、そういった農地の換地計画に沿ったことを取り組んでいるというお話も聞いております。そうしたモデル地区としての選定についてのお考えはありませんでしょうか、お尋ねします。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。モデル地区の選定並びに換地、交換の計画につきましては、現在のところ、選定とか計画とかはないところでございます。

国の事業につきましては、農地中間管理機構の関連農地整備事業というのがございまして、いろいろな採択要件がございますが、農地中間管理機構に貸すことで、対象農地面積が10ヘクタール以上ということで、中山間につきましては5ヘクタール以上ということであります。5ヘクタールの中でも、対象農地につきましては、各団地が1ヘクタール以上、中山間は0.5ヘクタール以上というような、連担化した農地であればいいというような形ではありますが、対象農地の8割を担い手のほうに集積しなければいけないなどの要件等がございまして、こういった事業並びに、これと類似した小規模的な事業もあるところでございます。

ただ、今のところは、その計画と申しますか、事業推進はされておられませんので、計画にも少し時間がかかっているということだと考えているところです。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。ぜひとも、そうしたそれぞれの事業がある

ようでございますので、検討をなされて、やはりどこかで一步を踏み出すことが大事ではないかなというふうに思っております。

ただ、今、現在の状況では、本当にこれからの五ヶ瀬町の農業としてはどうなるのかなという危機感を皆さん、農業をされている方は特にでありますけども、そういった心配を持っておられるというふうに私は認識しておりますので、ぜひとも、そうしたことで取り組んでいただきたい。

最後になりますが、農地集約化が未来の五ヶ瀬の農業生産基盤となるというふうに思います。未来に希望が持てるような政策が今、求められているというふうに思っております。町長の農業プロジェクトにぜひ反映して、実現をしていただきたいというふうに思っておりますが、先ほど答弁をいただきましたけども、再度この点について御質問をしたいというふうに思っております。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。秋本良一議員からの集約化、また、その基盤整備事業関係の、またあわせて、私が言っております第1次産業プロジェクトに関して、若干補足して説明させていただきます。

3月になりまして、3月下旬にやっとプロジェクトの立ち上げをやるということで、今、動いているところでございます。また、第5次の中山間地域直接支払制度もいよいよスタートするというので、先ほど議員からありましたとおり、やはり農家の皆さんと、特に若い、これから五ヶ瀬町の農業を担う皆さんも含めて、意見交換がやっぱり必須条件だなと思っているところでございます。そういう面じゃ、今月末の立ち上げを大きく期待をしながら、私も一緒に、ともに動いていきたいなと思っているところでございます。

特に基盤整備については、先ほど農林課長、ありましたとおり、中間管理制度の制度事業を活用したというのを、秋本良一議員もともに動いていただきましたが、第9区の揚荻原地区での説明会も含めて、動いておるところでございまして、やはり地権者の出入りとか、それから事業費の問題を含めて、なかなか地元と一緒にやろうという意識醸成はそう簡単ではないと思っているところでございます。

先ほどもありました換地業務と基盤整備というのは一体的に進むものですから、そこでAさん、Bさん、Cさんというのを一応集約化して規模を広げていこうというのが基盤整備事業でございます。国としては、今回、大幅な農業農村整備事業の予算も増額されておりますので、当然、中山間地域も含めて対応する体制はできていますから、あとは地元の意向をどう醸成していくかというのが一番大事なところだと思っています。引き続き、事業推進に向けて農林課、建設課を中心に、全力で進めていきたいなと思っておるのが私の思いです。

私からは以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。今、町長のほうから計画について、3月下旬には、そうした、また農業に対する若者との意見交換を始めていくということでございます。

確かにおっしゃるとおりに、やっぱり地元の理解者、地権者の理解者というのが、もちろん大事でございます。どこにでもこの事業が対応できるのかということ、なかなか難しい面があるかというふうに思っておりますが、ある程度、用水路の面とか、管理面とかが保たれるような、そうした農地につきましては、将来、五ヶ瀬の未来についても、ずっとやっぱり農業としてやっていかれるような、そういうふうな施策が大事かというふうに思っております。

そういうことで、行政のほうから、こういう意見が住民の人から出てくるのを待っているんじゃないかと、一つ攻撃的といいますか、建設的に地元呼びかけていただきますように強くお願いをいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（甲斐 政國君） これで、秋本良一議員の一般質問を終了します。

.....

○議長（甲斐 政國君） 次に、7番、小笠まゆみ議員、御登壇願います。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 7番、小笠まゆみでございます。通告に従い一般質問を行います。

1点目、道の駅構想について。

高速道路も徐々に動きを見せているが、道の駅構想はどうなっているのか、プロジェクトチームは棚上げと聞いているが、その後の動きを含めた考えを伺いたい。

2点目、新型肺炎コロナウイルスについて。

今、世界各国で広がりを見せ、九州でも発症事例が報告されているが、町の対応を伺いたい。

なお、通告書の提出期限は2月の21日でありましたが、2月20日に通告書を提出しております。2つの項目、どちらも提出後、大きな動きが出ておりますので、それを踏まえての答弁をお願いします。

それでは、まず第1点目、道の駅構想についてお願いします。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。小笠まゆみ議員からの、まず道の駅構想についての御質問に私のほうからお答えいたします。

この道の駅構想関係の御質問は、これまでの一般質問においても、甲斐松男議員等からも質問いただき、現状等についてお答えしておりますが、その後の動きについては、特に大きな動きはございません。また、プロジェクトチームについても、先ほど小笠議員からありましたとおり、同様の動きでございます。

ただ、私どもは、今後、整備が間違いなく進んでいく九州中央自動車道や主要地方道竹田五ヶ瀬線などの交通インフラ整備後の、人や物の流れをしっかりと検証しながら、確実に五ヶ瀬町の活性化につながるであろう施設を今後、検討すべきであろうと考えております。

特に国道218号線と主要地方道竹田五ヶ瀬線がつながり、宮崎県の西の玄関口に位置します特産センター五ヶ瀬では、九州中央自動車道の整備に比例していると思うんですが、売上額が最近の5年間で5,555万円から1億336万円と186%の伸びを示しておりまして、客数についても、3万6,823人であったものが8万9,176人と242%の伸びを示しております。このことを最近の国土交通省とか財務省等への提言活動におきましては、私ども九州中央自動車道の開通を見据えた五ヶ瀬の地元の取り組みとして紹介させていただいており、今後の施設の整備拡充の必要性を話させていただいております。

そのため、昨年度から特産センター五ヶ瀬に隣接します山林の用地取得を行い、既に支障木の伐採も終了いたしました。今後は、高速道路や広域林道等の土捨て場として活用し、あわせて、敷地の拡張につなげていきたいと考えております。まずは、この施設を道の駅につながる活性化施設として利活用していきたいと、今は考えているところでございます。

ここで、簡単に九州中央自動車道の進捗状況を話させていただきますと、平成28年4月に発災しました熊本地震の復興関係もあり、おくれていました蘇陽―高千穂間におきましては、沿線自治体、沿線議会、熊本・宮崎両県、さらには、民間団体と一体となった誠意ある要望活動の成果もあり、平成30年度には五ヶ瀬―高千穂間が事業化され、蘇陽―五ヶ瀬間につきましても、去る2月28日に国から県に直轄調査の結果が送付され、本日連絡があるかもしれませんが、令和2年度から新たな新規事業化に向け大きく前進しているところが現状でございます。本当にありがたいところでございます。

また、高千穂日之影道路の日之影深角インターチェンジから平底交差点間におきましても、令和3年内には開通予定と公表されていますし、嘉島ジャンクションから矢部間も鋭意工事が進められていますので、近いうちに開通時期の公表もあるものと考えております。

一方、残りの矢部―蘇陽間につきましても、計画段階評価に着手され、既に第1回の意見聴取も行われました。このように、想定以上のスピードで現在、整備・進捗が図られております。

そのような環境でございますが、蘇陽―五ヶ瀬間が事業化されれば、現計画では五ヶ瀬町と山都町、蘇陽の境に高速道路と国道218号、さらには竹田五ヶ瀬線がアクセスできる五ヶ瀬西インターチェンジも計画されるようですので、今後、このインターチェンジの場所やトンネル掘削土砂等の沿線の土捨て場の状況により造成される敷地等を総合的に検討しながら、道の駅ならぬ活性化施設の必要性を今後、総合的に検討していきたいと考えております。

私からは以上です。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 7番、小笠でございます。大変状況が変わっていくという中で、特産センターもしかりなんですけど、どういうふうに工夫して組み立てていくと集客が図れるのかというところも大切ではあったんですが、それがまさに蔵田まで高速が来たというタイミングの、ゴールデンウィークは影響はございませんでしたが、シルバーウィークにかなりの集客があり、販売高が上がっていった。そういうことが始まりとして、いろんな取り組み、御協力をいただいて取り組みをしていった経過が今につながっている。そして評判のよさでリピーターがかなりあるというようなことでございます。

道の駅、国に関係して道の駅として設置をするのか、それとも少し規模を小さくした、町がしっかりと管理できる、そういう、町長の表現によると、活性化施設ですかね、そういうものにするのかということも、もちろんでございますが、今、アクセスとか、いろんなことを考えると、今の特産センターがある場所というのが、ポイント的にもすごく適しているのではないかなと、我々素人が見ても、そういうふう思うんですが、これからの動きというものをしっかりと捉えていながら、この年度までには、そういったものを更新しようよ、つくろうよというようなものを持っていただきながらやっていっていただきたいというふうに考えております。

特に特産センターは老朽化も激しく、雨漏り、副町長が理事長になられてからも、かなり改修工事をしていただいておりますけれども、道路と面している駐車場でも、事故の発生とか、そういったものの懸念とか、駐車場が狭いと、こういうこともあるということで、この道の駅の構想棚上げということではなく、しっかりと道路状況を踏まえた上で、計画を、また動きを出していただきたいと思います。新庁舎建設というものも、きのう祈願祭がございましたが、動きがある程度、工事がもう始まるということで、では次はというときに、やはり道の駅という部分が我が町の大切な施設ではないかなというふうに考えております。

大体どういった感じで、いつごろまでにはという、そのいつごろは何年とかいうことではなくて、高速道路の進捗状況にもよると思うんですが、こういったお考えをお持ちなのか、再度お聞かせください。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。道の駅構想についてという御質問の再質問でございますが、小笠議員からありましたとおり、やはり現況は国道218号線、主要地方道竹田五ヶ瀬線、それから今後、整備されます中央自動車道五ヶ瀬高千穂道路のアクセスポイントとして、やはり今の特産センターの位置が一番立地条件はいいのだろうということで考えております。

ただ、後ほどありますワイナリーとか、それから中央自動車道の五ヶ瀬西インターチェンジの位置とか、今後、施工年度とか、それから土捨て場の位置とか、そんなところを踏まえて、おお

よそ頭をシミュレーションしながらやっていかないと、現状ではここがいいですねというの、なかなか判断しかねるといふところがありますので、例えば、土生一夕塩間の波帰之瀬大橋が下部工は着手しましたが、いつごろから上部工に、県の予算の流れでどれぐらいに開通できるかということとか、一般的な交通量、現状の218号線の交通量調査の結果等はあるわけですから、そんなもので一回一回、我々素人じゃなかなか判断できませんので、そういったあの近辺の調査計画というか、調査構想を外部の専門家に委託して、一回やっておく必要があるのかなという気が今しております。令和2年度の予算には上げられませんでしたけど、当面は、先ほど申しました特産センターの土捨て場を活用して、敷地を広げながら、今の施設が老朽化していますので、じゃ、日之影町がやられたみたいな地方創生拠点交付金事業とかも、現状ではまだあるんでしょうから、そういったものを企画課を中心にしっかり調査研究しながらやっていくべきかなと現在、思っております。

ということで、いつごろかというのは、全く示しもできませんが、そういう流れで進めていくべきじゃないかなということを考えています。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） この高速道路、こういう中山間地だからこそだと思ふんですけども、やはり町民が明るく生活していくために、明るい未来を語るために、それをまた実現していくためにという部分では、この道の駅という部分、農家の皆さん方にとっても、いろんな加工品の生産者の方々にとっても、今、本当に喜ばれている施設となっているという現状もありますので、どういった形で、どういった場所に、どういった時期でというものが明確にされなくとも、町長の先日の開会時の施政方針の中にも、道の駅の必要性というものも発言をいただいておりますので、今後しっかりとその検証などを行っていただきながら前進していく、そういったことで、今後、検討をしっかりとさせていただきたいと思ふます。道の駅に関しては、以上にします。

2問目でありますコロナウイルスについて、答弁をお願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。小笠まゆみ議員から2点目の新型コロナウイルスの感染症対策について、非常に的を射た、今の本当に答えなきゃいけない御質問に対して感謝を申し上げます。

まずですが、きのう、宮崎市で県内で初めての新型コロナウイルスの発症者が発表されました。河野知事も、11時以降にテレビでの解説、大変だったろうなと思うところがございます。

そういった中、本町も、先ほどコロナウイルスの警戒本部から対策本部に格上げをさせていただいて、さらに情報の収集、具体的な対策に移行したというのが現状でございます。

その新型コロナウイルスの感染症は、議員の皆さんも当然承知なんでしょうが、世界的に今、広がりをを見せております。日本においては、1月16日に初の発症者が確認されると、徐々に全国的に今、広がりをを見せております。宮崎にも発症しましたし、ひょっとすると、この西臼杵にも発症者が出るというのも考えておかなきゃいけない事態になってきております。

人類はこれまでに経験したことがない感染症であるから、インフルエンザ等で実施するような予防接種とか、治療薬がないこともあって、非常に皆さん、不安に襲われております。

御質問であります本町の対応としましては、先ほどの対策本部はちょっと置いておきまして、2月10日から「帰国者・接触者相談センター」が高千穂保健所内に設置されましたので、相談受付の案内につきましては、現行、防災無線での町民への周知を行ったところでございます。

また、2月23日からは、町のホームページにおきましても、予防や疑いのある症例についての対応、手洗いの励行、せきエチケット及びマスクの着用について、町民への注意喚起を行っております。

ただ、きょうも対策本部で出ましたが、マスクの不足とか、消毒薬の確保とか、そういう備蓄品の対応がやっぱり問題がある部分も出てきております。その辺を今後、対策本部で十分に議論しなきゃいけない。そして、2月27日には、先ほど申しました警戒本部を立ち上げまして、五ヶ瀬町新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく自治体制をしき直して、私を本部長に、副町長、教育長を副本部長として、構成員としては、各課長、所属長を置きながら進めております。本日、先ほどから繰り返しになりますが、対策本部に切りかえたということしております。

関連する部署が多いので、県は、市町村課を窓口にするということになりましたので、うちのほうも総務課、またあわせて福祉課を総合的な窓口として推進することとしております。

また、高千穂保健所におきましては、管内の医療機関、行政機関等によります連絡会議も開催されておきまして、疑い事例の発生時の対応の説明とか、関係機関の対応状況につきましては、県のほうから報告があつているところでございます。

高千穂保健所管内におきましても、感染者を出さないように、相互に連携を図りながら対策に努められておりますが、疑い事例とか、感染者が発生した場合の対応につきましても、五ヶ瀬町の新型インフルエンザ等行動計画を参考に、新たな新型コロナウイルス感染症のための行動計画を想定し、対応していきたいと思っております。

まずは、全てのイベントが中止になり、町内の宿泊施設も全て宴会を含めてキャンセルが続いております。この経済循環も非常に大きな動きで打撃が出始めておりますので、今、国の融資制度もスタートするということがありますので、そこ辺の情報も十分とりながら、やはりそういった行政だけでなく、町内全体の経済効果についても議論しながら、対策を打っていくということを考えております。一日も早い収束を願うとともに、西臼杵管内はもとより、本町におきまし

ても発症者が出ないということを心から願っております。

私からは以上です。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 小笠でございます。通告書を提出したときには、まだ熊本県の発症事例はございませんでした。その後に熊本県でということで、感染者を収容する病院は、熊本市市民病院だったということもあって、ちょうど私のかかりつけというか、入院をさせていただいていた病院がそうだったと。

そこで、お母様は陰性だった。だけど、後々陽性になられた。勤務先が市民病院だった。自分の中では、やはり重篤化する基礎疾患というものを持っている人間として、その重篤化の恐怖、それから自分がもしかしたら保菌者からもしれない、それがより多くの人に自分が菌をまくかもしれないという恐怖、やはりそれ2つの恐怖というものを抱えていると、どうしても敏感にならざるを得ないというところがあるんですが。

この件については、普通のインフルエンザの死者数というのを見てみましたときに、2018年で国内で3,000人以上の方がお亡くなりになっています。ゼロ歳児から、宮崎県ではたしか17歳の若者もだったと思うんですが、高齢者まで、いろんな年齢層の方が犠牲となっていちゃるという現状を目の当たりにしたときに、今の新型コロナのこの動きというものが、ちょっと自分の中ではマッチしないというか、今から先、もっともっと大きな被害が出ていく、そういうものになるのではないかというふうな不安も抱いているところであります。

町長のほうで、町の対策、また教育委員会のほうでは、生徒・児童の対策、福祉課のほうにおきましては、幼児の対策等を含めて、高齢者の対策というものを、今からさらに細かく、詳しくやっていかれると、維持していかれるというふうには思うんですけども、経済的な部分、これがこれから先、長引けば、どれだけ影響が出るのかというのが非常に懸念されているところでございます。セーフティネット4号、5号というものを発動しておりますけれども、それに対する町民の方々がどれだけ、このセーフティネットは実際、貸し付けなので、貸し付けられたものを返していかなきゃいけないという部分があるから、そういう影響に対して、どれだけ補填できるのかとか、そういうことも今後、議論が出てくる可能性もあるというふうにも考えているところです。

まず、一つ一つちょっと状況を教えていただきたいという部分で、一番最初に、国主導でやられました休校という部分で、教育委員会のほうの御対応という部分をお聞かせ願いたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 教育長。

○教育長（猪野 貴一君） 教育長です。小笠議員の質問にお答えいたします。

教育委員会としましては、政府・首相の要請を受けた2月27日、一斉休校の要請、その8日前の1月28日には、既に校長会を開いて、予防等の対策について、また罹患者が出た場合のことについて話し合いを終えておりました。

ただ、27日の要請を受けて、本町におきましても、やはり3月2日月曜日から15日日曜日までの期間を一斉臨時休業とし、部活動、スポーツ少年団につきましても、活動の中止・自粛を通知してきたところでございます。

このように、早くから取り組んできたこともあり、学校現場においてはスムーズな対応ができたのではないかというふうに思っております。また現在、社会において懸念されております、日中の預かりができない子供への対応というか、預けることができない子供、児童に対してですが、本町におきましては、児童クラブがございません。ただし、放課後子ども教室を持っておりますので、放課後子ども教室を臨時的に開設し、朝の8時から午後の6時まで、保護者が働きに出やすいような環境づくりに努めてきているところでございます。2カ所開設しておりますが、大体平均して上組に開設しているところで約20名弱、そして鞍岡のところでは5名程度が来ているというふうにつかんでいるところでございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 本当に子供たちに感染したらどういう状況になるのかというのは、全く見えておりませんが、実際に感染という事例も聞いております。未来を担う子供たち、大切な宝物でもございますし、苦しみを与えたくはございませんので、放課後子ども教室での感染の予防というものに徹底をしていただきたい。もちろん、自宅での徹底というものの延長にあると思うんですが、ファストフードの店員とか、保育士の人とか、ラウンジの接客の人とか、知らないところで感染していて、より多くの人にその可能性を広げてしまっているというパターンもございますので、放課後子ども教室で御協力いただいている大人の方の徹底、熱をはかることとかが一番確実ではないかなと思うんですけども、そういったものを徹底していただいて、集団感染の事例の発症とならないように、今後も引き続き御努力をお願い申し上げます。

教育委員会、もう一個いいですか。給食食材の納入業者に対する影響というものをどのように捉えていらっしゃいますか。

○議長（甲斐 政國君） 教育長。

○教育長（猪野 貴一君） 教育長です。先般、県内においても、また全国的においても、返品するとか、また牛乳を買わなくなったために業者が困っているという問題につきまして、1週間ほど前、校長会を開いたときに、やはりそのあたりの見通しを学校として持って、2週間は納入しませんとか、そういうことをまずしっかり伝えていきたいと思います。業者のほうへ対応

していこうというふうにしておりますが、実際は本町におきましては、そこまで多くの食材を、児童生徒が少ないこともありまして、有するわけではございませんので、まずは2週間につきましては納入しないということを伝えた上で、本日、またその次の週、どうするかということについて話し合いを行いますので、また業者へ通達・連絡をしていくというふうなことを徹底させていこうというふうにご考えているところでございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 今のことに関連しますけれども、納入業者、町内にもいらっしゃいますし、また農作物関係も、徐々に影響を受けていくと見られております。ワイナリーとかの販売高にも影響が出るでしょうし、木地屋とかの温泉に行かれる方も減ってくると、いろんなところにじわじわとした打撃が出てくると想像されますので、これから先、各部署、いろいろと影響が出てくると思われますけれども、町民の声に耳を傾けていただき、柔軟な対応をしていただくということで、短めではございますけれども、一般質問を終わらせていただきます。皆さん方もくれぐれも健康に留意されて、御活躍いただきたいと願っております。

.....

○議長（甲斐 政國君） それでは、ここで暫時休憩をいたします。35分から開始したいと思います。よろしくお願ひします。

午前11時26分休憩

.....

午前11時33分再開

○議長（甲斐 政國君） それでは、再開いたします。

次に、2番、佐藤成志議員、御登壇願ひします。

○議員（2番 佐藤 成志君） 2番、佐藤成志です。通告に従い一般質問を行います。

質問の通告でありますワイナリーの今後の展望について。

質問の要旨、ワイナリーは、来場者もふえまして、だんだんとネームバリューも九州内に浸透してきました。2年前に私が一般質問した際、ハイランド、道の駅等に関連して、全体的にワイナリーについては考えるということで伺いました。

その後、どのような話し合いがなされたのか。また、その中で、今後どのようにワイナリーを発展されるのか、どういう協議がなされたのか、伺います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。佐藤成志議員からのワイナリーの今後の展望についての御質問について、私のほうからお答えいたします。

この件につきましては、先ほど議員からありましたとおり、平成30年第1回の定例会の一般質問におきまして、五ヶ瀬ワイナリーの施設整備についてという内容で御質問いただき、私のほうから、九州中央自動車道や竹田五ヶ瀬線の夕塩―土生間の整備にしばらくの期間を要するので、その間に町内の類似施設である木地屋とか、特産センター五ヶ瀬、さらには将来の道の駅構想などを総合的に考えた整備計画を検討していきたいとお答えしております。

佐藤成志議員からの、その後どのような話し合いがなされたのか、その中で今後どのようにワイナリーを発展させる協議がなされたのかという御質問でございますが、前回の御質問の段階では、駐車場用地としての土地取得や、ワイン館、物産館、レストラン、風のホールとの動線―一人の動きなどは、現場のほうから意見をいただいておりますが、今回、昨年7月に、同じく会社側の、我々も会社の社長ですけども、会社内の協議において、五ヶ瀬ワイナリーの取り組みと今後の課題という内容で整理いただいた資料で検討させていただきました。

その中で、第1に、現在既に導入し、会社として取り組んでいる事項、それから第2に、今後、会社として導入していきたい事項、そして第3に、将来に向けて検討が必要な事項として、それぞれの項目ごとに提案を受けましたので、現在、会社じゃなくて、行政内部でその検討を進めている段階でございます。

特にその中でも、ワイナリー施設のリニューアルという件がありまして、レストランの移転などの提案もいただいております。ただ、前回も申し上げましたが、現在、進めようとしております特産センター五ヶ瀬の土捨て場を活用した駐車場用地の拡張とか、九州中央自動車道五ヶ瀬西インターチェンジの計画との相互関連、または現在、整いつつありますブドウ生産量とワイン醸造販売計画の関連、さらには、会社自体の将来の運営体制など、総合的に検討しながら方向性を見きわめることが重要であると考えております。

一方、リニューアルすることによる、先ほどの小笠議員の道の駅の構想の話でもありましたけども、リニューアルすることによる効果検証や町の財政面での検証も十分に行わなければなりません。そのようなことを総合的に考えれば、先ほどの小笠議員からの御質問もありました、道の駅構想等を含めた総合的な整備計画作成のための計画調査をやっぴりやる必要があるのかなどの、まだ具体的に決定しておりませんが、私自身考えているところです。

いずれにしても、高速道路の整備とか、竹田五ヶ瀬線の整備については、しばらくの期間を要しますので、やはり今後ここは十分な検討を進めながら、方向性を見きわめる必要があると考えております。

私からは以上です。

○議長（甲斐 政國君） 2番、佐藤成志議員。

○議員（2番 佐藤 成志君） 私のほうは、2年前に行いました質問にもありましたように、土

地の交渉とか、物産館、ワイン館、レストランを含めた総合的な動線をつくれよというのが、昨年、宮野常務よりリニューアルをするための計画書みたいな、おおむねこれぐらいの予算が必要だと、こういう形で進めたらという形で提案がなされたと思いますけど、この提案については、一応どうお考えでしたか。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。佐藤成志議員の再質問にお答えします。

先ほど言ったところが、宮野常務を中心に、会社側から、私も会社の社長なんですけども、会社内部のほうから検討する材料として提出された資料です。

十分中身は、以前から協議している項目ですので、内容は十分理解しているところですけど、今、じゃ、どこをどうするか、風のホールにレストランを持っていくのか、今のレストランを物産館に持っていくのかとかいうのがありますが、やっぱりもう少ししっかり検証していきたいなと思っています。人の動き、それから先ほどの特産センターのあり方、それから将来の活性化施設がどうあるべきかを見きわめて、やはり相乗効果が出てこないと、ワイナリーだけのことを考えてやるわけにはいきませんので、十分提案内容は理解しているつもりですけど、そこ辺をやはり専門家、我々がいいよねと思っても、実際は将来の交通量予測がこうなるとか、いろいろ出てくると思うので、最後に申しました、総合的な整備計画作成のための調査研究というのかな、専門業者の委託等も検討してみる必要があるのかなと思っています。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 2番、佐藤成志議員。

○議員（2番 佐藤 成志君） このリニューアルについては、非常に会社のほうから強く強く要望があっているということで、町長である、社長であることで、そのことについては理解はされているということで、私のほうが理解してよろしいでしょうか。

それでは、この特産センター、また新たに道の駅等、相互関係を十分に検討してからしなくちゃいけないということで、先ほどの小笠議員の道の駅のときにも話があったんですが、この整備計画調査というのを第三者に委託をして行うということで考えてよろしいでしょうか。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。佐藤成志議員からの再々質問なんですけど、調査委託については、当然、予算を伴うものなので、ちょっとやりますとかいう結論は全く出していませんが、やはりいろんな検討を要するのが多いので、特に道路インフラ整備のことも含めて、人の動きとか、それから現状の特産センターの今の販売量、お客さんの動きも、先ほど紹介しましたけど、そんなところもいろいろ検討を要するのはたくさんありますので、やはりそこ辺をしっかり検討していかないと、ワイナリーだけのリニューアルの問題だけじゃないと。

ただ、今、ワイナリーがおおよそブドウの栽培面積も確定して、醸造量もおおよそ一定な方向性が出てきましたので、あとはただ、残ってるワインをどうやって売るかというのが最大の課題だと思っていますので、そのためには、こういったのが必要ですよと、お客さんが来ないと、やっぱり、物産館、それから、ワイン館の販売量はなかなか伸びませんよというのがあるので、十分理解はしていますが、やはり、もうちょっと時間をかけて総合的に検討しながら結論を出す必要があるのかなというところです。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 2番、佐藤成志議員。

○議員（2番 佐藤 成志君） 庁舎内での検討もありますけども、民間にその調査委託という形をしながらということで理解してよろしいでしょうか。

それで、その中で、また、先ほどの中にもありましたように、回答の中にもありますね。ワイナリーのブドウ生産量とワインの醸造所、販売計画とか、ワイナリー自体の将来の運営に対してという形で、この中で、運営体制の中で、ブドウの生産量、ワインの販売計画、中で、今のブドウの生産者からの買い入れ価格がかなり高額な価格で買い入れているので、これらの運営について、ちょっと圧迫を受けているんじゃないかなという気もしなくてはならないのです。今後、農林振興の面から、そして、ワイナリーの運営から見て、この生産量が拡大する中で、ワイナリーの負担分がふえていることについて、どう考えているのか、伺います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。佐藤成志議員からのワインの買い取り価格との関連の質問にお答えいたします。

現在、五ヶ瀬ワイナリーも、約100トン弱のブドウの買い取りができるようになっております。ただ、均質な原料じゃないと、非常に品質の差が大きいという現場からの意見ですので、今、現場のほうでしっかり、そこ辺を考えた買い取り量、それから、買い取り価格は検討いただいております。

先ほど佐藤成志議員からありましたとおり、農業振興のためのワイナリー、経営構造対策事業でつくった醸造施設でありますので、そこ辺については十分考慮し、当然会社側としても、通常ワイナリーが買い取る価格よりか、やはり、一定レベル、生産者が営農を続けられる価格として、今、買い取り価格が従来から決定されております。

その分についての会社側の経費負担増についても、現在、補助金制度、補助という形で、委託料じゃなくて、補助という形で、約1,000万の部分を補填させていただくような形で、補助金で対応させていただいております。

この部分については、じゃあ、妥当かどうかというのは、金額の内容も含めて検証を続けてい

きますが、その部分で、会社側として、じゃあ、この辺が課題ですねというのは、現在、内部の会社の、内部で行政も入って検討させていただいておりますので、また、一部見直す必要もある項目も出てくるかとは思いますが。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 2番、佐藤成志議員。

○議員（2番 佐藤 成志君） 非常にジレンマのあるところですね。農業振興からいったときには生産者保護のために、また、生産拡大のためには高価格で買い取りをある程度しなくては続けられない。ただ、ワイナリーとしては、買い取り額が大きいことによって、非常に経営も少し苦しくなっているという、そのジレンマがありますけれども、これはバランスをとりながら、農業振興もしっかりさせながら、そして、また、ワイナリーの経営もしっかりしてもらいながら、やってもらいたいと考えております。

その中で、私の、時間的に、もう少し本当は欲しいんですが、もう最後の質問にさせていただきます。

このワイナリーの質問を、昨年、一昨年もしましたし、今度もしているんですが、今のハイランドスキー場のほうが非常に苦しい経営。特に、ことは、また、2万1,000人ということで、赤字が出るだろうということで、非常に苦しいハイランドのほうが経営をなされております。というのは、五ヶ瀬に対する負のイメージのほうが、今、マスコミ等流れるイメージ的には、五ヶ瀬に対する負のイメージのほうが強いと思うんです。これを払拭させるには、やはり、もう一つの第三セクターであるワイナリーが元気になる、そして、健全な経営をして、質の高い経営をして、五ヶ瀬は、ハイランドは苦しいですけども、この五ヶ瀬ワイナリーは大丈夫ですって、そういうアピールをしなくちゃいけない。そのためには、リニューアルを含め、いろんな面で、町外に、町民に発信しなければならないと思います。

先ほどから、いろんな面について検討という形、回答はいただいておりますけど、この五ヶ瀬町ではないと思いますけれども、検討という言葉は、なかなか前に進まない言葉の一つであります。今後は、この検討された内容を町民に、そして、町外に向けて発信して、ワイナリーのさらなる発展を町外にアピールするというので、五ヶ瀬の負のイメージを払拭させてもらいたいと思います。

町長であり社長でありますので、これからの展望、まさしく展望でありますワイナリーの育成を見通す、また、どう取り扱うか、そして、こういうものにしますという目標を決めたものが心の中にあるかと思っておりますので、それを聞いて終わりたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。ただいま、佐藤成志議員からワイナリーの今後の見直しを含め

ての御質問だと思いますが、議員からありましたとおり、スキー場についても、ワイナリーについても、負のイメージ、私が聞くところによると、いろんな人がありがとうって、あつていいわって、やっぱり、ないといかんわってという声を外部団体、よその方から大多数いただきます。それを受けて、現場も一所懸命やってくれているし、ワイナリーも当然ですが、スキー場も、ハイランド、木地屋そうなんですけど、もう全力でやろうやっつていうところで、評価は物すごく大きいものがあると思っています。だから、負のものじゃなくて、やはり、これを何とかねて、やらないかんよねという声がいろんな県の知事筆頭、幹部の皆さん、それから、いろんな関係団体の皆さん、それから県内の市町村の皆さん、いろんな声をいただいています。そういうのを励みにしながら、経営はワイナリーもハイランドも非常に厳しい中での運営なんですけど、そういうのをしっかり後ろ盾にしながら、実際、私も町長として、社長として、やらせていただいています。そういうところで、ワイナリーについては、一つの観光、五ヶ瀬のお客さんを引っ張る目玉でもございますし、桑野内地区の一番の農泊とか、今から進むであろう地方創生事業の核となる施設だと思っていますので、そういうところを、今の体制が一番知恵を出せる体制だと思いますので、そういうことをしっかり議論しながら、検討するじゃなくて、前に進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） これで、佐藤成志議員の一般質問を終了します。

.....

○議長（甲斐 政國君） 次に、5番、白瀧徹哉議員、御登壇願います。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） 5番、白瀧徹哉です。通告に従い、一般質問を行います。

質問事項であります。子供たちの提言活動について質問いたします。

五ヶ瀬町教育ビジョンの集大成として、昨年5月グランドビジョンを制定し「幼児からお年寄りまで」五ヶ瀬教育も成熟期を迎えようとしております。G授業を通じた五ヶ瀬中学校生徒の五ヶ瀬デザインプロジェクト発表や五ヶ瀬中等教育学校生徒、卒業生からの提言は本町の政策、課題に的を得ていると思います。デザインプロジェクトの狙い、町の将来を案じ時間をかけた生徒たちの提言に、今後どう町として応えていかれるのか、GDP開催時期を含め、考えを伺いたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。白瀧徹哉議員からの子供たちの提言活動という御質問に、町長また教育長の質問事項ということで質問いただいたところですので、まず、私のほうからお答えさせていただきます。

まず、五ヶ瀬中等教育学校生徒の、また卒業生も絡みますけど、提言につきましては、今年度、

町では、総務省が所管します「関係人口」創出事業モデル事業に企画課を中心に組み立てていただきました。この事業では、五ヶ瀬中等教育学校の在校生また卒業生が関係人口に関係します政策提案コンテストに参加いただいて、関係人口を活用した本町の課題解決策を考え、実践活動を行うものでございました。具体的には紹介はしませんが、それぞれ、いろんな6年間で体験した、わらじづくりとか、それから、中等の先生もいろんな独自の発表をいただいて、私自身聞いて非常に、政策に反映するものではないかもしれんけども、非常に参考になるものでございました。

一方、五ヶ瀬中学校生徒が行ったGDP五ヶ瀬デザインプロジェクトにつきましては、やはり、地元の小学校の6年間と中学校の3年間で、五ヶ瀬町内で学んだ経験、特にまた家庭教育もあるんでしょうが、それぞれの生徒の思いを自分の感じている課題の解決策として提案いただいております。そして、提案された内容は、中学生並びに五ヶ瀬町民の意見またはアイデアとして、真摯に受けとめさせていただいております。

また、管理職内部でしっかり中身を検証して、教育委員会から提出いただいた資料を見ながら、意見交換しながら、この政策提案はおもしろいよねって、これをやってみたいよねって、いうような評価もさせていただきながら、それぞれ、例えば、五ヶ瀬町長賞とか、そういうものを決めさせていただいて、みんなの場で表彰させていただいております。

ただ、あくまでも、これは五ヶ瀬町の施策として反映できるかというのは、それぞれ我々行政内部で、総合計画とか、いろんな施策を打ってやっている部分ですので、直に反映できるかというのは別問題としまして、五ヶ瀬町ならではの教育システムの一環として、やはり、継続しなきゃいけない事業なんだろうなと思っているところでございます。

私からは以上です。

○議長（甲斐 政國君） 教育長。

○教育長（猪野 貴一君） 教育長です。白瀧徹哉議員の子供たちの提言についてにおける五ヶ瀬中学校のGDP五ヶ瀬デザインプロジェクトについて、お答えいたします。

GDPは、豊かな体験活動により児童生徒がふるさとの魅力に関心や興味を持ち、地域のよさや課題を感じて発信するための知識や技能及び五ヶ瀬町に貢献しようとする意欲や態度を培うものであり、小中9年間を通して学んできた学びの集大成として、中3の3年生が行っております。また、10年以上前から行っていた発表会を平成27年度からGDPと名前を変え、取り組んでいるところでございます。

そこで、教育委員会としましては、子供たちが提案するGDPの内容を町の施策等の一つのアイデアとして活用できないかと考え、生徒たちがGDPでつくったプレゼンテーションを町長、副町長及び各課長等に審査を依頼し、五ヶ瀬のことについて考えたすばらしい提案を表彰する

ことで、生徒たちの提案を大切にしようというふうに取り組んでいるところでございます。

なお、GDPで生徒の考えた提案がこれから町の施策にアイデアの一つとして少しでも生かされることできるよう、次年度の予算編成を考える時期の前である11月に各課へ示すようにして、工夫しているところでございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） ただいま、町長、教育長より、GDPの取り組み、また、生徒の皆さんの提言の活動につきまして、町の基本的な考えについて答弁をいただいたところであります。

本年で6年を迎えますGDPも、昨年も見せていただきましたけれども、目的の成果というのが非常に子供たちの提言の中にしっかりとあらわれてきているように感じ、また、本当に楽しく感じたところであります。

平成29年度からお話もありましたように、新たな取り組みとして、表彰あるいは町の施策や事業へのアイデアとして、2点ですか、採用されたということで、指導者の先生方また生徒の皆さんから、このGDPに対する考え方、やる気、期待も非常に高まっているということを聞いております。

今後、GDPが、今後も教育ビジョンの中で、このGDPは続けていくという町長のお話もありましたけれども、さらに、このGDPの見解を広げていくためにも、生徒の皆さんのモチベーションをさらに上げるためにも、しっかりと個々の提言を評価してあげて、先ほどありましたように、町の施策としてマッチングできるようなところについてはしっかりと対応していただく。また、受賞した作品に限らず、一つ一つの提案をしっかりと町の施策と照らし合わせて、改善できるところについてはしっかりと改善をしていただきたいと思うわけではありますが、町長の考えをお伺いしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。白瀧徹哉議員からの今後の五ヶ瀬デザインプロジェクトの行政としての考え方。当然、教育委員会でしっかり子供たちの教育を見据えた取り組みでありますので、当然それは優先して教育委員会で施策を打っていただくことに我々は支援していきますが、非常におもしろい提案、いい提案、本当にやらなきゃいけないという提案も出てきますので、それぞれに我々に刺激を与えていただきますし、子供たちも9年間で学んだ思いをこの場で、ばんと発表できるという機会はなかなか、ほかの学校ではないと思いますので、それをしっかり我々は大事に真摯に受けとめて、ともに年代別関係なく議論するような形がとればいいのかなど思っています。

将来1回卒業して、高校に出られて、また進学されるなり就職されて、将来、五ヶ瀬に帰ってきてくれるというのが我々の最終目標の取り組みですので、そこ辺をしっかりと子供たちに伝える、また、保護者にも伝えるというのが大事かなと思っています。全力で教育委員会とともに協力しながらやっていきたいと思っています。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） 先日、教育長とお話をさせていただいたところでありますが、このGDPに対しては、本当に教育委員会として崇高な夢というか、目的を持っておられます。先ほども何回も話で出ておりますように、最終的には、子供たちがしっかりと9年間の活動を通して身につけた五ヶ瀬の知識とか、ああいったものを感性を育み、また、その課題を通して、町に施策を提案していくというようなことで、最終的には、子供たちに身につけさせることが私たちの狙いであるということですので、そのことについては非常に感銘を受けておりますし、また、このことはしっかりと、これからも子供たちの中に植えつけていただきたいというふうに思っておりますが、審査については、要綱に沿って非常に厳正に審査が行われているようであります。また、11月の予算編成に合わせて、この時期をGDPの開催を合わせているということでもあります。

そこで、過去2年間の中から2名の生徒の皆さんの提言について少しだけお伺いしたいと思います。高齡化社会、また、相次ぐ大きな自然災害等の世情を非常に反映されたテーマの中で、課題解決に向けて、子供たちなりにしっかりとその対策を見出されております。本当にすばらしい提言が多く見受けられますけれども、その中から、平成30年の夢わくわく賞の宮本さんが出されております、外国人宿泊者をふやそうということについて、もし、町長に御記憶がありましたら、講評をお願いしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。それぞれ町長賞は入れているんですけど、夢わくわく賞とか、いろいろ賞、子供たちがやらないかんねと思ったことは、しっかりと真摯に取り組めますけど、ただ、行政がやる、今回いろいろ動いているのは、去年の赤谷商店街をにぎやかにしようというのも、これは特に、その前段から動いとった部分もありますので、その子供たちが提案して動いたというだけじゃないという。商工会青年部、青年団の動きもあるわけですから、そのところが全部集合していけばいいなと。

スローフードについても、ワイナリーで、宮崎大学等も入ってやっていた経緯もあるわけで、その辺が直に子供たちの提言だけじゃなくて、総合的な取り組みが複合化して実施になるというふうに考えています。そのインバウンドについては、今、桑野内の農泊を中心に、また、それ

から、8区の庄屋乃館についても民泊機能を持って非常に多いとお聞きしております。そういうところで、子供たちが提言してくれているのも、だんだん進んでいると思っています。

また、台湾のカ行国民小学校にも、昨年夏休みに子供たち行ってもらいましたし、今回、コロナインフル関係で、ちょっと来れないという事態になりましたけど、教育委員会、町としては、その五ヶ瀬町内の小中学生とカ行国民小学校の子供たちと姉妹盟約みたいなものを組んで、ずっと一生涯、子供たちがつながりを持ってできるような体制もつくりたいなど、そういうのも一つの一環かなと思っています。

私からは以上です。

○議長（甲斐 政國君） 5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） 白瀧です。なぜ、このようなことを申し上げたかという、今、御紹介がありましたように、今、インバウンドビジネスが非常に盛んに拡大しております。また、田舎暮らしが拡大する中で、政府が先日、訪日外国人旅行者を4,000万人までふやすというような計画が政府によって打ち出されたところでありまして、町内民宿の拡充はもちろん、そこで受け入れない部分がありますので、また、元鞍岡中学校の校舎、この2階の教室などを素泊まりの宿泊施設及び中等校の唐立さんですか、提案をされておりますサテライトオフィスへの兼用ということも、今後、地域のビジネス、活性化を図る上で重要ではないか、検討の余地があるのではないかとということで、お尋ねをしたところでありますが、このことも含めて、町長のお考えを伺いたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。白瀧徹哉議員からの現状のインバウンド対策を含めて、例えば、事例として、鞍岡中学校跡地の件も出されましたが、今、本格的に鞍岡地区も、本気、もともと本気なんでしょうけど、次の跡地利用について本格的に動き出しました。そういったことで、施政方針でも話させていただきましたが、集落支援とか、地域おこし協力隊とか、そういった、できる限り、そういった制度事業を活用して、うまく動き出すように我々も今仕組んでいますので、でも、やはり、何といても、地元の方々、特に地元のリーダーが中心になって動いていただく必要がありますので、当然、五ヶ瀬町議会の議員さんも含め、また行政関係者、また公民館長さんとも一体となり、何か新たなそういった計画が上がってくると全面的に支援していきたいと思っています。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） ありがとうございます。

もう1点だけ、これも作品になりますけど、紹介させていただきたいと思いますが、こ

これは令和元年度最優秀賞をとられました甲斐陽南子さんの災害対策による安心・安全なまちづくりということで、提案がされております。

このことは、陽南子さんについては、被災地での事例をもとに、災害の疑似体験、また、町民全員による避難訓練の実施というのを自分の課題として捉えておられまして、町に対して提言をされておりますけども、このことについて、町長のお考えを伺いたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。白瀧徹哉議員からの昨年度のGDPの提案、最優秀賞ということで、甲斐陽南子さんの防災関係の提案をいただきました。

特に、避難訓練、自分たちの学校としての避難訓練も当然ですけど、やはり、五ヶ瀬町民としての避難訓練も提案いただいておりますので、現在、総務課を中心に、既に地域ごとの避難訓練はやっていますので、そこら辺と、じゃあ、足りない分、じゃあ、現状として足りない部分をどういう形でやるかというのは検討する、今、している段階ですので、また反映できる部分があれば、反映していくというところで考えております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） 甲斐陽南子さんの分については、反映できるものについては、反映させていきたいということであります。

高齢者のひとり暮らし、また、避難困難者が今後ふえていくということが想定される中で、支援体制というのは、訓練の中から学習することが非常に多いというふうに私たちは思っております。町の災害対策に照らし、改善また充足が必要な箇所については、こういった子供たち、町民が不安にかかるようなことについては、しっかりと対応していただきたいというふうに思っております。

次に、令和元年度のGDPに対して、宮崎大学生が生徒たちへの指導・助言についていただいたというふうにお聞きしております。今年度も教育充実プログラム推進事業の中で計画を立てていただいておりますが、その目的と今後の展開についてお願したいと思っております。

○議長（甲斐 政國君） 教育長。

○教育長（猪野 貴一君） 宮崎大学の学生さん。特に、今年度、大学院生それと大学の4年生がうちの町に来ていただいて、延べで言うと200人程度の学生さんがかかわってくれたのではないかなと思っておりますが、その中で、GDPの発表会に参加していただき、子供たちのGDPがいいレベルまで高まるように、高いレベルにまで高まるような助言等をいただいたりすることができました。

また、さまざまなほかの学年の授業、G授業について補助的な役割を示していただきましたの

で、非常に教職員からもいい評判を得ているところでございます。

次年度からになりますというか、継続をしていきたいと考えておりますので、本町の行っていきますグランドビジョン、特に小中学校の部分につきまして、内容が充実しますよう、そして、その内容が充実することで、子供たちにより確かな力がつくようなことを願って、宮崎大学と連携した取り組みを行っていききたいと考えております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） ありがとうございます。今後も宮崎生が連携していただきながら、G授業へさらにかかわりながら、児童生徒のいろんなところに成果が上がるように努めていくということですので、心から期待を申し上げたいと思います。

最後に、企画課、これは所管になりますけれども、最初に町長からお話がありましたが、五ヶ瀬中等教育学校生徒によります政策提言コンテストについて、1点だけ、お伺いしたいと思っておりますけれども、本年度も昨年に引き続き実施されるということでもあります。五ヶ瀬中等教育学校の存在と町の活性への貢献を改めて政策提言の発表会を見まして感じたところではありますが、今年度の取り組みも加えて、今後、どういったことを今後まちづくりの中で展開していかれるのか、お伺いしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 企画課長。

○企画課長（小迫 幸弘君） 企画課長です。平成2年度の話は今から予算の中で説明をさせていただくので、昨年度から、今年度ですね、平成元年度、国の事業として取りまかせていただいたその目的は関係人口創出をしようということでございまして、我々の思っているイメージは、3年から5年後に卒業生が友人らとともに五ヶ瀬を訪れるようになるような関係をつくるとか、5年後に卒業生が地域課題、今まで取り組んだことを含めて地域課題に解決に取り組んで、地域活性化に貢献してくれる関係性をつくるとか、10年後に卒業生がUターンして、複数の事業を展開しているとか、そういったことを狙いに、今、学校と一緒に取り組んでいるということでございます。

今回、幾つかの提案をしながら、政策コンテストをして、それを実践活動として、みずから実践活動をやらせてもらっています。引き続き来年に至っても、まだ、実践活動としてやるべきものが残っていますので、そこについて、やる。

それから、政策提言につきましても、今回が初めてでしたが、今度、この3月3日、きのう、おとといか、卒業された方は、その政策提言コンテストには参加されていません。在校生の5年生、それから、卒業生だったので、そういったことが、もう少ししばらく関係性を、参加するか、そういう中で関係性を持つとかということも含めて、事業としてはやるのが効果的かなと

いうことで、来年、事業を組んでいるということで、中身は、また予算の説明のときにさせていただき、おおむね、今年度のやり方を踏襲してやろうと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） この政策コンテストは私たちも聞かせていただいたところでありまして、生徒の皆さんの政策提言は、本当に本町が直面しているような課題の解決に糸口がつかめるような、そういうような提案も多数ありまして、これを機にさらに連携を中等校の生徒と深められて、関係人口を広げ、また、願わくば、移住定住にしっかりとつながることを期待し、また、町長の答弁も含めて最後にお伺いして、私の一般質問を終わらせていただきたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。今回、白瀧徹哉議員からいただきました、まず、五ヶ瀬中等教育学校の現生徒、また、卒業生との連携した政策提案等の取り組み、また、五ヶ瀬中学校生徒を中心としたGDP五ヶ瀬デザインプロジェクトの取り組みについては、先ほどから答弁していますとおり、やはり、五ヶ瀬町の中等教育は県立学校ですけど、五ヶ瀬ならではの、非常に有効というか、貴重な教育システムでありますので、特に五ヶ瀬中等教育学校というのは、世界農業遺産のフォレストピア圏域を中心とする学校で、6年間寮生活をしながら、いろんな悩みを持って、いろんな取り組みをやっている子供たちですので、その人たちの意見を十分聞く。また、五ヶ瀬で生え抜いて頑張っている、いろんなことをやってきた五ヶ瀬中学校の子供たちとその複合した、やはり、その連携は昔から私は思っていました、やはり、一緒にやるべきだと、県立学校でもということで、ますます、そういう取り組みが加速してきましたので、非常に期待が持てますので、そういうところを教育委員会、特に教育長と連携しながら進めていければと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） これで、白瀧徹哉議員の一般質問を終了します。

.....

○議長（甲斐 政國君） 時間は過ぎておりますけれども、あと1名ですので、続けさせていただきます。

次に、3番、綾健一議員、御登壇願います。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。通告に従いまして、1点ほど、一般質問を行います。

質問事項、10年後の農林業経営について。

質問の要旨、今や人口減少に伴う対策は自治体や企業や農林業まで及び、国全体の課題でもある。企業では、人口減少の対策としてAIなどの研究をし、労働者不足を補うため、大手の企業が動き出した。大型店舗などは既に精算機など導入し軽減を図っている。こうした動きの中、農林業の労働者不足が課題となっている。このような中、農林業を振興させていくには、何らかの施策が必要と思うが、10年後に向けての取り組みや対策をどのように進めていくのか伺いたい。

このことについては、先ほど秋本良一議員の質問と内容が重複している部分が大半ございます。回答も聞いたところですが、再度お願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。綾健一議員からの10年後の農林業経営についての御質問には、まず、私のほうからお答えいたします。

先ほど議員御指摘のとおり、秋本良一議員からの集約農業の計画についての一般質問の中でも御説明を申し上げましたが、近年、農業を取り巻く状況は、国全体の人口減少や少子高齢化等により、農業の担い手不足や労働力の不足等などにより厳しさを増してきているところがあります。

五ヶ瀬町は、農林業が基幹産業であります。担い手の高齢化や後継者不足につきましては、非常に深刻な問題でありまして、今後、農林地を維持しながら、持続的な農林業振興は町の最も重要な課題であると思っております。

これまで農林業の振興につきましては、農林業者から事業要望等により国や県の有利な補助事業等に町費の上乗せを行い、また、農林業後継者組織への活動費助成、新規就農者に対する育成支援事業の推進、認定農業者や後継者への経営規模拡大、新規品目導入の推進、農林作業条件整備を進めてまいりました。

今後、持続的な農業を展開していく上で、担い手対策や担い手の農地の集約化の推進の重要性を深く認識しているところでございます。

若い世代の新規就農者のみならず、女性から中高年者などが活躍するなどの人材を農業の担い手として支援しながら方策を講じていくこと、また、労働力の減少に対しても、農林業生産が維持できるような仕組みづくりが必要だと考えております。

そして、最も重要なことは、自分の農林業経営の方針や地域の農地をどのように活用していくのか、農業者御自身が集落の皆さんがどのようにお考えになるのかが重要であると思っております。そのため、先ほどから出ていますとおり、地域や各集落、中山間直接支払いの集落協定など、話し合い活動をやはりもっとふやさない、農業者の皆様への農林業に対する強い思いを聞くこともできませんし、今後、5年、10年後の農林業の方策、方針について、先ほどありましたプロジ

ェクトも含めて協議を進めていきたいと考えております。

そして、議員各位におかれましても、これまで以上に五ヶ瀬町の農林業振興発展に対しまして、いろいろな御助言また御意見、御提案をお願いしたいと思っております。

私からは以上ですが、具体的な御質問については、一問一答にて、担当課の農林課長等から説明いたします。よろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） 3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。ただいま、町長のほうから御説明をいただきました。昨日は、農林課長からも答弁の要旨をいただいたところでございます。農業経営者の農産物出荷調査資料として、JAの資料をもとにした資料をいただき、目を通したところでございます。この中に、種目として、畜産、野菜、花卉、果樹などあり、平成26年度から30年度までの生産農家と面積、生産量、単価、総生産額などの数字が示されておりました。売上額は上がっており、出荷頭数では、若干ではあるが減になっており、資料では、やめた戸数は出ていませんが、実際にはやめている農家もあるのではないかと考えております。また、野菜の部分では、26年度から30年度にかけて生産戸数が減っており、水稻、お茶も、同じく減であります。果樹については、ブドウの生産者が増になっており、面積も1.3ヘクタールの増であったが、全体的に見ても生産者面積等が減で、販売額は単価等の変動もあるが、畜産が伸び、野菜も少し伸びておたと見たところでは、資料では見えない部分もあり、全体的に見れば、生産者や耕作面積も年々減っている傾向にあることから、10年後に向けて、町の取り組みや対策を伺ったところでは、

今も発言されたように、答弁書にもありましたが、スマート農業への取り組みで、本年度、中山間地直接支払制度を活用し、1協定にて、ドローンによる防除実験を行ったとありますが、どこで行ったのか、また、結果などはどうであったのか、お尋ねいたします。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。綾健一議員の御質問にお答えさせていただきます。

中山間直接支払いの制度の活用ということで、ドローンの防除を行ったわけなんです、鞍岡地区の日陰協定において実験を行ったところでございます。効果については、棚田地域の防除ができて、地元からもよかったということで御意見を伺っているところなんです、経費的には100万ほどかかっておまして、今後の、導入に関しては、今後の検討が必要かなというところが課題かなと感じるところであります。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。ただいま課長のほうから鞍岡地区でよかった

ということの回答があったところです。経費については、100万ぐらいはかかるのではないかと回答でございました。そのことに対しては理解をいたします。

次に、労働不足のため、無人農業機械等の研究も進んでいると聞くと、中山間地域に似合う機械や施設等について、情報の収集を行いながら、投資効果も含めて検証を進めたいということですが、将来、無人農業機械を使用するには、今の五ヶ瀬地区では効率が悪いのではないかと考えているところがございます。

そこで、お尋ねしますが、私が思うには、耕作放棄地や狭い農地等を調べて、できることから集約して、少しずつでも基盤整備を行い、無人機械がスムーズに動くスペースをつくるのが重要と思うが、この基盤整備について、将来どのようにお考えか、お尋ねします。

このことについても、先ほど町長のほうから御答弁されましたので、重複するかと思えますけれども、私は、非常に、この基盤整備というのがすごく大事じゃないかなと思っておるところです。それもやっぱり他県に行きますと、もう身近なところから、熊本あたりに行きますと、かなりの僻地などでも、例えば、砥用あたりとって、美里あたりのこともお話していいかと思えますが、あそこら辺に行きますと、現に道路のほうから見えるようにきれいな造成を行い、農家の方が作業しやすいような環境をつくっておられます。私も先延ばしにしないでいただかないよう、重点的に考えていただきたいなと思うところです。

このことについても、もう一度、見解を伺いたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。綾議員からの先ほど秋本良一議員からありました基盤整備、小規模基盤整備の導入についてというところでの質問と解釈し、お答えいたします。

先ほどから答弁してありますとおり、やはり、基盤整備事業の重要性は、私もずっとそれに携わってきていましたので、十分認識しております。経済効果等も含めて、やっぱり、やれるところはやっていかないかないという思いでいるところですが、先ほどの答弁の繰り返しになりますが、そこで営農される方がいらっしゃると。やはり、そこでのまとまりができてこないとなかなか事業化は厳しいというのが現実だと思います。それぞれの個人の財産として、土地、農地を持たれていますので、そこをどう活用して自分の生涯設計を立てるかというのは、やはり、それなりの覚悟を持って基盤整備に当たっていかないと、やはり、できないことだと思っております。

特に、担当事業費が平場に比べますと倍以上に上がりますので、当然、限定した区域に設定する必要がありますし、将来の営農についても、農業法人化なりもしっかり考えていかないと、次の世代がどうするかということもありますので、そういったところ、十分、地元で議論しながら、やはり、よし、やろうやという機運になれば、行政としても、いろんな手はあるということだと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 先ほどの答弁のとおりかと思えます。私もそのように伺っておりますので、そのことについては、ならざるを得ん部分もあるのかな。そして、地元の人たち、協力者、そういったものが整わんことには、前に向けて進むことが困難かなと思うところでもあります。しかしながら、それを地元から地元からと言われる気持ちはわかりますが、地元の間がどうにかやりたいなというような気持ちにも、行政がかかわっていただきたいと思う部分があります。

次に、農林振興について伺いますが、担い手対策の農地の集約化ですが、先ほど言われたとおり大きな課題を認識されておるところでございます。そこで伺いたいののが、担い手の育成を図るとありますが、現在不足の状態にあり、これらがどのようなことが、これからですね、どのようなことができるのか、お尋ねします。

また、町長の次なる思いと題し、農業、林業、商工業を大きく伸ばしたいとあるが、一次産業プロジェクトの立ち上げはどうなっているのか、お尋ねします。

しかしながら、先ほど3月にスタートされるということをお聞きしましたので、そのことについては申していただかなくてよろしいので、前回、前のほうの担い手のほうについて、もう少し詳しく答弁をお願いします。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。担い手の育成につきましては、新規就農者等々も含めまして、若い世代の方には、現在も次世代支援事業ということで補助制度を活用して支援を行っているところでありますので、そういった支援は継続して行っていきたいと考えております。

また、あと、先ほどから出ております農地の集積ですね、優良農地を地域集落等ごとに、直接支払いの集落協定等もございますし、そういった規模の中で、誰が担っていくかという協議がまず重要な課題かと思えますので、その中で明確にしながら農地の集積を図って、集約的な反当たりの収益が上がるような農業経営ができるような作物の検討とか、そういった経営管理の支援とかいう形で、農業経営の改善が図られるような形で支援していくことが重要かと考えているところであります。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。次に、農地集積を図るとともに所得の拡大を目指すとありましたが、農林課長のほうで、そういったことに対して、今説明がなされたとおりにかと思えます。

五ヶ瀬は兼業農家が多くて、残された人たちが農林業を営んできております。農業だけで経営されているのはわずかです。将来、農林業の衰退を防ぐにはどういった対策があるのか、また、将来のことゆえに変動があり説明しにくいかと思いますが、差し当たって思われるようなことでよろしいので、お答えを願いたいと思います。

先ほどと違ったような形で、何かお考えがあるのか、そのことについてお伺いしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。兼業農家が多いということでありまして、農林課で行いました、昨年度行いました意向調査の状況からですけれども、農業経営及び農地の利用の意向につきましては、規模拡大したい方並びに現状維持という方で、約70%弱となります。現状維持につきましては、62%程度の方が現状維持という回答いただいておりますので、農業経営の維持をするための支援をどうしていくかということが課題だと思っております。

先ほども答弁等ありますけれども、規模拡大や新規就農者を含めた若い担い手を初め中高年者の方々の力を、活躍をする場を結集して、農業の担い手ということで支援を進めていきたいと考えておりますので、そのためにも農業従事者との話し合いを図りながら、将来の取り組みについての協議を進めていきたいと考えているところであります。

具体的な方策、こういった形ということは、なかなか、この場で述べることはできませんけれども、そういった意見収集をしながらの今後の取り組みかなと考えているところであります。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。ぜひ、そういった形で、前向きに進めて、今後の担い手づくりをしてほしいと思うところであります。

ほかに、もう1点です。AIについて、ちょっとお尋ねしますが、AIのスマート農業について、補助金等の支援についてはどのように考えがあるかということで、この回答をいただいております。導入について取り組む場合には、地域や農業者に有利な補助事業での導入を検討していく考えであると記載してございますが、このようなことを続けてもらえる、どれぐらいの間隔で続けていただけるのか、御説明をお願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） まず、現在のAIスマート農業につきましては、先ほど申し上げたとおり、今年度、直接支払いのほうでドローンの実験を行ったところであります。今後の導入可能な機械等々につきましては、AIの人工知能の利用につきましては、ハウスの自動開閉装置とかの携帯電話での管理とか、畜産の牛温恵、牛歩による牛の発情の状況の監視などが、この中山

間では考えられないかと思っております。

そういった育成状況の管理などございますけれども、今後の導入につきましては、その機器的、機械等の購入につきましては、投資効果並びに経営、農業者の要望等により慎重に検討していかねばいけないと考えているところであります。

そういった今後導入に向けた検討がなされていくと思っておりますけれども、そういった事例が出てきた場合に、有効な補助事業を活用して、有利な形で導入していくということの方針ということで考えているところであります。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。先ほど農林課長のほうから答弁をいただきましたが、このAIについては畜産業などに利用するというところで回答いただいております。また、この補助事業等についても、要望があれば、引き続き考えますというようなお話で受け取ってよろしいのでしょうかね。

最後になりますが、畜産、水稻、茶、野菜、花卉等が減少傾向にあり、担い手不足、労働者不足といった課題はもとより、その他さまざまな問題が山積している中、10年後など思いがちですが、今から何らかの対策を検討しないと10年はあつという間に来ます。私が五ヶ瀬に帰って21年たちましたが、農業は余り変わった気がしませんので、林業については、大型機械の導入が進み、伐採林が多く見えるようになりましたので、変わったような様子が見られます。しかし、植林は進まず、雑林が目に入るようになりました。今後もしばらくは、こういった傾向が続くと予想されます。

答弁（シュジ）では、今後は、農業者、林業者との話し合いを推進し、行政や関係機関といろいろな意見を出し合い、5年後さらには10年後への対策を協議しながら、農林業の継続に向けて取り組みを進めたいとのこと、ぜひ、動いていただきたいと思っております。

最近では、世界の情勢が変わりつつあります。中国とあらゆるもので貿易が盛んであったが、今後は変化が起こる可能性がございます。農業の分野でも見直し、食料品を輸入に頼らず、自国で生産するようなことになるかもしれませんので、そういった可能性もあるので、今後、行政や関係機関と情報を共有しながら、しっかりと協議の上、対策をとって、農林業への振興に取り組んでいただくことを願い、これで私の質問を終わります。

○議長（甲斐 政國君） これで、綾健一議員の一般質問を終了します。

○議長（甲斐 政國君） 以上で本日の日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。

次回は、3月9日午前10時から開会しますので、定刻までに御参集ください。どうも御苦労さまでした。

午後0時47分散会

3 目 目

令和2年第1回五ヶ瀬町議会定例会会議録

(第3日)
令和2年3月9日

○会議に付した事件

- 日程第 1. 議案第14号
令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算について
- 日程第 2. 議案第15号
令和2年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計予算について
- 日程第 3. 議案第16号
令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計予算について
- 日程第 4. 議案第17号
令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計予算について
- 日程第 5. 議案第18号
令和2年度五ヶ瀬町介護保険特別会計予算について
- 日程第 6. 議案第19号
令和2年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計予算について
- 日程第 7. 議案第20号
令和2年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算について

○ 出席議員（８名）

1 番 渡邊 孝 議員	2 番 佐藤 成志 議員
3 番 綾 健一 議員	4 番 秋本 良一 議員
5 番 白瀧 徹哉 議員	6 番 甲斐 松男 議員
7 番 小笠まゆみ 議員	9 番 甲斐 政國 議員

○ 欠席議員（なし）

○ 地方自治法第 121 条の規定により、事件説明のため出席を求められたものは、次のとおりである。

五ヶ瀬町長	原田 俊平
教 育 長	猪野 貴一
監 査 委 員	菊池 孝男

○ 町長の委任を受けて説明のために出席したものは、次のとおりである。

副 町 長	宮崎 信雄	農 林 課 長	廣本 憲史
総 務 課 長	戸高 勝洋	建 設 課 長	田原 昭生
企 画 課 長	小迫 幸弘	まちづくり推進室長	丸田喜久夫
会 計 室 長	北島 隆二	町 民 課 長	齊家 晃
教 育 次 長	甲斐津世志	福 祉 課 長	武内 秀元
病院事務長	奥村 和平		

○ 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	垣内 広好

午前9時58分開議

○事務局長（垣内 広好君） 御起立ください。一同、礼。御着席ください。

○議長（甲斐 政國君） ただいまから本日の会議を開きます。

日程第1. 議案第14号

日程第2. 議案第15号

日程第3. 議案第16号

日程第4. 議案第17号

日程第5. 議案第18号

日程第6. 議案第19号

日程第7. 議案第20号

○議長（甲斐 政國君） お諮りします。日程第1、議案第14号令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算についてから日程第7、議案第20号令和2年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算についてまでの7件は、これを一括議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、議案第14号から議案第20号までの7件は、これを一括議題とします。本7件については、去る3月3日提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑に入ります。質疑をされる場合は、議案名、ページ等を示して発言してください。質疑がありましたらどうぞ。4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。一般会計予算の38ページの総務費であります。委託料が500万8,000円というふうに上げてありますが、人口減少対策事業の委託料、関係人口の創出事業委託料であります。非常にこれ人口減少の中、高齢化社会の中で重要な項目じゃないかなというふうに今思っておりますが、この金額に対しての見込まれる効果としてどういう考えなのかお伺いをいたします。

○議長（甲斐 政國君） 企画課長。

○企画課長（小迫 幸弘君） 企画課長です。委託料、こちら3つ合わせて500万ということになってございまして、1つが人口減少対策事業委託料ということで今年度もやっておりますが、人口分析、藤山浩先生にお願いして、今後の五ヶ瀬町の人口をどう分析していくか、これは全体ではこれまでやってきたんですが、今現在は小学校単位とか区単位でどのように人口が推移していくか、それをどのように食いとめていくかということを経験の人たちと一緒に考えるというために分析をしております。

今現在、今年度はちょっとコロナウイルスの関係もあって、最終報告会が残念ながらあすの分ができなくなっただけですけれども、消費動向調査ということで、五ヶ瀬町においてどのような消費が行われているかということをもちまして、分析をして、どのような分野にお金がかかっているということをはっきりと示して、今後例えばUターン・Iターンに係る分について、このような費用がかかるからということと、それからどういう職業でどのような金額を得てどう暮らすかというようなことも含めて提案できるようなことを考えているところでございます。

あわせて、この来年度分につきましては、介護分析ということで、これは福祉課のほうと連携して取り組もうと思っておりますが、今多くの費用がかかっている分野が医療介護分野であるということをごさいますして、その介護分野でいかに金がかかっているかということと、それをどう抑えていくかということで、費用を減らして所得を上げていくということではないんですが、その分をほかに回せるようなことを町として考えているようなことを、これも各地区の動向とか状況を細かく分析をして、皆さん方に訴えて、そのような取り組みを皆でやっていこうということを考えているということでございます。

それから、そのほかの分につきましては、今年度関係人口創出事業委託料につきましては、今年度関係人口モデル事業を取り組んでおりますが、来年度も同じく同様のスキームでやろうと考えてございまして、今年度もやってございまして、サポート事業というのも取り組んでございまして、そのサポート事業を委託するというので、実際の実践事業をサポートしていただくというような委託を組んでございます。

それから、婚活事業の委託料につきましては、やっぱり人口減少対策として、今年度これもコロナウイルスの関係で福岡から2月の29日、3月1日に福岡の女性をお呼びして婚活事業を計画しておりましたが、これもコロナウイルスの関係でできませんでした。これは後に予算を組んでからの話でありますけれども、参加予定だった男性の方々非常に積極的でやはりこういった事業の必要性を考える中で非常に重要だと感じたところです。来年度これを町単として取り組みをしたいということで掲げているものでございます。そういったものを通じて人口減少対策をやっていけたらということでございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。今御説明をいただきましたが、非常にこれから先の五ヶ瀬町の未来にとって重要なことであろうというふうに思っております。ぜひ御期待を申し上げますが、これ、単年度じゃなくて次年度につきましても、ぜひとも引き続きこういう取り組みについてはお願いを申し上げたいと思います。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。6番、甲斐松男議員。

○議員（6番 甲斐 松男君） 6番、甲斐松男です。議案第14号令和2年度の五ヶ瀬町一般会計予算のページが73ページの森林公園事業費の2,985万7,000円についてですけれども、関連質問になるかと思えますけれども、令和2年3月1日をもって2020シーズンの五ヶ瀬ハイランドスキー場の営業を終了しました。2019年、2020年シーズンとも集客目標に遠く及ばない厳しいシーズンで終了しております。町長は厳しい結果を真摯に受けとめている、来シーズンに向けた準備を進めながらスキー場をどうしていくべきか、町民や関係団体、県などと意見を交わしていきたいとの新聞のほうに発言を載せておられました。今後のハイランドスキー場の方向性、打開策をお考えでの予算計上であるのかをお伺いしたいと思えます。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。甲斐松男議員から令和2年度の一般会計予算、森林公園事業費での予算立ての基本的な考え方がございますが、議員からありましたとおり、2020シーズンやはり温暖化の影響もあり、また1,000メートル滑走部分が6日間しか営業できなかったということで、目標値には届かなかったわけがございます。ただ、多くのお客様が私も何回となく上にも上がらせていただきましたけれども、お客さんから非常にやはりこのスキー場の重要性、また支援価値の高さ、含めていろんなお話を聞いております。

そういった中で、今後スキー場のあるべき姿については、マスコミの取材にも答えましたとおり、この結果についてまた営業期間の7日ほどクローズもしましたし、そういったことについては真摯に受けとめて、今後のあり方について十分関係機関また町民、当然議会が優先ですけど、意見交換して次なる手を打っていくということでお答えしております。次年度については、そういった投資部分については極力抑えて、2021シーズンについては、ぜひ引き続き営業するという方向で予算立てをしております。

また、次年度については、今度週末予算審査が終わり次第、議会の皆様とも意見交換会をやらせていただくことにしております。そういった形で令和2年度については、それぞれの機関、それぞれの団体、しっかり意見を聞きながら次なるステップにどう対応すべきかを議論していきたいと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 6番、甲斐松男議員。

○議員（6番 甲斐 松男君） 6番、甲斐松男です。以前、飯干町長のときだったと思えますけれども、第三者の検証委員会に委託したときに4万人を割った場合にはスキー場の経営改善が必要だということ、イエローカードをいただいたと思うんですけれども、それからまた4万人を割って、それでは3万人では何とか経営が続けていかれるんじゃないかっていうことで、議

会もそれなりに一所懸命応援してきたと私は思っておりますけれども、それがまた3万人も割って2万人をやっと暖冬とか、今度のコロナウイルスあたりの影響で集客が図られてないっていうことで、いわゆるレッドカードになっていると私は思っております。それで、やっぱり今後のしっかりとした方向性を出していただかなければ、今度の森林公園事業費の予算をどう判断していいのか私たちも本当に心配しているところですが、町長の意見をもう一回再度聞きたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。甲斐松男議員からの再質問にお答えします。

スキー場については、まあ、スキー場だけじゃないんですけど、今期の特にコロナウイルスも感染拡大が進む中でいろんなイベント含めて第三セクター、ワイナリーもハイランドも木地屋もスキー場も非常に影響を受けております。セーフティーネットということで、国もやはり全国的な動きでスキー場だけの問題じゃなくて、全ての大きな課題をかけながら今動き出しつつあります。そういった中で、スキー場については再度申しますが、やはり九州では今、五ヶ瀬ハイランドまた九重この2つが大きなウインタースポーツの資源を持つ施設です。ということで、いろんな国の機関また県の機関、当然知事もですけど、このスキー場何とか残さないかんっていう思いで今支援方法も含めていろんな県職員も再三となく来てくれております。そういったやはりどうかしてこの貴重な資源を残すべく、我々はこれまで努力してきているところでございます。そういった中で、今回入り込み客も大幅に減ったということでございますので、これを受けてしっかりもう一回議員の皆様を含めて議論していくということで考えております。

ただ、先ほど申したとおり、この五ヶ瀬ハイランドスキー場というのは、宮崎県のみじゃなく、九州そういったところで非常に大きな効果を及ぼしております。単なる観光施設だけじゃなくて、教育施設また先ほどから出ています人口減少対策、雇用対策を含めてやはりそういうところをしっかりと議論していかないと、人が減ったからもうやめていいよという議論だけじゃないと思っております。そういうことでしっかり令和2年度については、引き続き営業するという方向で、かついろんな課題については真摯に議論していくと、当然町民の皆様ともですけども、そういうことで考えております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 6番、甲斐松男議員。

○議員（6番 甲斐 松男君） 6番、甲斐松男です。来シーズンも赤字経営でも続けるということで理解してよろしいですかね。（「はい」と呼ぶ者あり）

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。2番、佐藤成志議員。

○議員（2番 佐藤 成志君） 一般会計の予算で35ページにあります地域づくり支援補助金

420万計上されております。今各公民館に30万ずつ出ているんですが、非常に各公民館で温度差がありますので、これについて例年どおりの予算でまた今回もその補助をやっていくのかということ伺います。

○議長（甲斐 政國君） 企画課長。

○企画課長（小迫 幸弘君） 企画課長です。実をいいますと、これ、今の長期総合計画と期限をあわせておまして、来年度までの期限付きの補助金になってございます。なお、予算的には30万掛ける14地区としておりますが、実際には基本額が25万円で長期総合計画の戦略ですか、3項目ありますが、それに合致するものについてプラス5万円をして、上限としての金額ですが30万、上限としての基本単価が25万として20年度までの予算ということで、20年度上げているという状態です。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 2番、佐藤成志議員。

○議員（2番 佐藤 成志君） 90ページにあります一般会計予算です。教育費負担金補助及び交付金、国文祭・芸文祭五ヶ瀬町実行委員会補助金ということで754万7,000円計上されております。詳細については、また予算委員会で説明があるかと思えますけども、どういう取り組みを五ヶ瀬町ではやりたいのか、また実行するのか教えてもらいたいです。

○議長（甲斐 政國君） 教育次長。

○教育次長（甲斐津世志君） 教育次長です。佐藤成志議員の質問にお答えします。

国文祭・芸文祭については11月15日日曜日に予定をしております。その中で、五ヶ瀬町が取り組む内容としては、風流——風流御存じだと思いますが、荒踊りを中心としたフェスティバルを考えて、全国の風流グループに呼びかけて、その団体を五ヶ瀬町に来てもらって披露すると、祭りを行うというような形で——済みません、祭りという言い方失礼ですけど——そういう形で風流フェスタという名を打って、あと地元のいろんな文化団体とかいろんな団体を合わせて1日ステージを考えているところです。これによって文化庁との進めておりますユネスコの風流グループの登録、または宮崎県での発信ということも考えているところです。済みません、言葉足らずですけどまた委員会で詳しく説明させていただきます。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。一般会計の80ページの消防費でございます。負担金補助及び交付金の中で、地域防災士資格所得補助金ということで2万5,000円ほど上げてあるようでございますが、御存じのとおり今消防の現役が年々と減っていく中だと思いますが、そういう中でもう少しこの予算等につままして組んでいただいて、そして防災士という資格者をふやして行って、防災士の活動というのも見込まれるんじゃないかなというふ

うに思っておりますが、その点についてお伺いいたしたいと思っております。

○議長（甲斐 政國君） 総務課長。

○総務課長（戸高 勝洋君） 地域防災士資格取得の補助金ということで、今回5,000円の5名分ということで予算計上させていただいております。地域防災士の資格取得の方が町内に何人いるかの詳細をここに資料を持っておりませんが、確かにいろいろな防災関係の事業とか説明会とか講演会とかやる中で、地域防災士の方が出るということは非常に意義あることかと思っております。ただ、どのくらい地域防災士の方が事業に参加できるかということの詳細は、内容的には詰めていく必要があると思っておりますので、決まり次第はできるだけ地域防災士の方に出させていただくということは考えております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） 5番、白瀧徹哉です。ただいま送らせていただきました。令和2年の一般会計書の46ページになります。12番、委託料の中で福祉センター屋根改修実施の設計委託料ということでありますが、この詳細と一つ気になるのが社会福祉協議会、建築されてから年数がたったというようなことで、施設及び設備等に支障が出てきております。床暖房がここ3年ぐらい故障したままで使えないという状況があるようではありますが、そのことも含めて今後調査また改修の見込みがあるのかをお尋ねしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 福祉課長。

○福祉課長（武内 秀元君） 福祉課長です。白瀧徹哉議員の一般会計当初予算書46ページの委託料の件ですが、社会福祉協議会、福祉センターの屋根改修に伴いましての屋根の大体3,000万以上恐らく予算がかかるだろうということで、まずは設計委託料を組んでいるところがございます。もう既に2年ぐらい前に雨漏りがするというふうなことで要望があっていたんですが、空調設備を今年度夏場に改修をいたしました。そういう関係もありまして、なかなか一度にはできないという予算上の都合もありまして、来年度屋根の改修ということで考えております。

床暖房につきましては、ちょっと私もその詳しい内容を把握しておりませんでしたので、しっかり把握して修繕が必要とかそういう要望が今のところ私の耳には届いておりませんので、また確認をさせていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） 床暖房のことについては、職員の方から当館利用者の方から直接お話を伺ったところでもありますけども、やはり冬場、ちょうど寒いときに空調だけの暖房ではどうしても足元が寒いということで利用者の方から何とかしてほしいというような話も出ている

ようでありますので、このことについて冷暖房やっぱりどうしても整えておく必要がありますので、そこの辺についてはしっかりとまた今後対応していただければと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。一般会計当初予算69ページになります。18番目です。負担金補助及び交付金として林道改良工事補助金350万円が計上してありますが、この予算は林道改良ということで少し少ないんじゃないかなという気がするんですが、どういったことに使用されるのかお尋ねいたします。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。綾議員の御質問にお答えさせていただきます。

林道改良事業につきましては、生コン舗装について補助金を出している部分でございまして、要望調査をとりまして要望調査の結果によって予算をしているところでございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 生コン舗装ということですが、これは林道だけということになるのでしょうか。それともまあ少しは農道関係も入るのでしょうか。全く農道は関係ないということなんでしょうか。林道だろうとは思いますが。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 済みません、作業道に対する生コン舗装の補助ということでありませう。（「わかりました」と呼ぶ者あり）

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 7番、小笠です。今発信を押しましたが一般会計の予算書の8ページになりますが、歳出の部分の5番目、農林水産業費っていうのが前年度比較で減額になっておりますけれども、昨年も減額というような形で予算計上がされておりました。農林業の災害などが起きたときの手立ての差はあるかと思うんですけれども、やはり第1次産業にしっかりと力を入れていくというふうに町長御自身も思いを持っていらっしゃる中に、毎年毎年前年度と比較して減額になっていくっていうのは、何か要因があるのか、わかる範囲内で構いませんのでお願いします。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。小笠まゆみ議員からの歳出の部分、農林水産業費の本年度予算6億3,304万4,000円というのが、対前年比で423万7,000円の減額と、一昨年も踏まえて2年連続の減額ということで、基幹産業の農林業振興に当たって、その背景はという

ところでお答えしますが、予算編成方針でも述べさせてもらったとおり、これは、ことし非常に総額が伸びているんですけど、デジタル防災無線それから新庁舎建設の部分で約18億ぐらい今回上げさせていただいています。そういった中で、当初予算編成説明会については、当然全体のシーリングを見据えて九十数%での予算要求をお願いしますという形で、当初予算編成方針の説明をやっていきます。

そういった中で、全課から町内全体の要望額が上がってきていますけども、その中で農林水産業費、農林業費についてもこれまでのいろんな補助事業とか交付金事業を含めて上がってきていますが、ちょっとここでどれが減って、どれがふえたというのはちょっと説明ができませんが、また予算審査委員会の折には具体的な説明を担当課長からさせますが、全体予算が上がってきた部分をシーリングまたこれはどうしてもやらなければならないというのを特化して、最終私のほうで査定させていただいています。

そういったところで、予算がどれだけ上がってきたのかということも関連するでしょうし、もう引き続き事業が終了したっていうのもあると思います。そういったところでちょっとこの場でどれがどうなったって説明しかねますので、また予算委員会のほうで、きょう質問がありましたのでしっかり担当課長から説明させますので、そういう形でこの場ではお願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） まあ、町長に対して確認をしたかったという意図もあるんですが、やはり五ヶ瀬町という部分は農林業あつての町というところがありますので、予算はしっかりと計上していただいて、いろんな意味で支援をしていただけるようなそういう産業を衰退させないようにしていただきたいと思います。その思いをお聞きしたかっていうか、そういう部分が一番大きいので、今後ともしっかりとした予算づけをお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。一般予算の61ページなんですけど、一番下の農業振興まつりの開催の補助金ということで100万ほど上げてあるようでありますけれども、それは農業振興、農林業振興、どちらかなというのが一つ。

それから、金額が100万という金額の中でこういった計画がなされているのかお尋ねしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。秋本議員の御質問にお答えさせていただきます。

これは、農林業振興まつりということで予算要求しているところでございます。

令和2年度の農林業振興まつりの方針につきましては、ことしは11月に開催したわけなん

ですけれども、10月から11月にかけては、令和2年度におきましては、ちょっとイベントが続く状況でございます。その中で、農林業振興まつりをこれまでどおり開催するというのは厳しい状況でありますので、今後実行委員会等でも協議しまして何か別のイベント等の中で連携して開催していくか、その方向性については実行委員会のほうでまた協議させていただければと考えているところであります。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 農業じゃなくて農林業振興まつりということの補助金ということでございますが、今のところ秋口に向けてはいろんなイベントが重なると、先ほどの風流もそうかなというふうに思っておりますが、そういう中で何かほかのイベントと組み合わせて実行できる予算だというふうに理解してよろしいでしょうか。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。秋本良一議員からの一般会計予算の農業、これ農林業振興まつり関係補助金ということで、2年続けて農林業振興祭り、農林課を中心に、また全庁的に盛大に開催させていただきました。約300万程度、単年度予算組ませていただいて、町の単独事業として実施して非常に町民の皆様からも「これはやれよ」という声をいただいて、引き続きやるという方向性ではおります。

その中で、先ほどありましたとおり、国文祭関係の風流フェスタを11月15日に現在計画をしております。また、コロナウイルスの関係もありますが、ワイナリーの収穫祭とか、それから夕陽の里フェスタ、そういったちょうど秋口のイベントがその時期に入ってくるということで、この農林業振興まつりの実行委員会も昨年立ち上げて議論はしていましたが、同じ時期にやはりやるというのは厳しいんじゃないかという意見もあって、私自身もただ風流フェスタで文化芸能の発表だけじゃなくて、やはりジビエも踏まえて、地元の農林水産品、特産品含めて、やはりいろんなお客さん見えますから、そこでPR、物販もするほうがいいんじゃないかということで、まだ未確定ですけど、その風流フェスタ等に合わせて、そういった農林業祭りに関連する食のフェスタ、まだ未確定ですけど、五ヶ瀬の食のフェスタとかいうものを合わせてやれば、会場は同じでも来た来場者については非常に喜ばれるし、PRにもなるんじゃないかという構想で今進めているところです。そういう関係もあって今回、農林業予算で100万を計上させていただいています。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 7番、小笠でございます。一般会計73ページになります。商工

費森林公園事業費の中の使用料及び賃借料、国有林使用料139万円が計上してございます。しつこいようですが、一般質問をさせていただいた経緯もあるんですが、国有林の払い下げ、今期のスキー場の営業の結果がわかった、そして天気左右されるという大きな関連性があるという部分で、今でもまだ町有林の払い下げという部分を検討してみてもはどうだろうかというような思いとか、そういうものは町長、お持ちでないですか。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。小笠まゆみ議員から一般会計の予算書の73ページ、森林公園事業費のうちの使用料及び賃借料、国有林使用料139万に関連しての御質問にお答えさせていただきます。

一般質問でも以前出させていただいて、九州森林管理局、北部森林管理所とも、この件についてはある程度どういう形になるのかというのをシミュレーション的に概要は見させていただいていますが、非常にやはり管理する部分、国有林を払い下げしていただいて、管理する部門が町としてどれだけ負担になるのかと、またじゃあそのスキー場が仮に営業できなくなったということ想定した場合については、その国有林をどうやっていくのかというところでやっぱりその辺がしっかり整理されないと、なかなかその判断も難しいというのもあって、今のところやはり維持管理上、町で管理するのは厳しいという判断をもって、払い下げをすとかしていただくことは考えていないということでございます。

ただ、やはりいろんな前提を調査しておかなきゃ結論が出せませんし、判断がつけないというのもありますので、令和2年度は、先ほど甲斐松男議員からも御質問ありましたが、スキー場を、そん、どうすつとってというのが、また大きな話題になってきますし、我々の使命になりますので、そこ辺をしっかりとある程度内部で調査をできる体制づくりをつくりたいなと思っております。国との交渉とか県との情報収集とかいろんなやり方をやらないと、なかなか内部だけで議論するとこじゃないので、そういう体制づくりをしていきたいと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 我々も簡単に払い下げをしていただいたらどうかというお話を差し上げているというところではないんですが、一番懸念されるのは、もしスキー場の営業をやめるとい段階のときに、どれくらいの費用がかかるのか、建設した分の費用にさらに今度は産廃とかそういったものがプラスされてくるということで、かなりの費用もかかるのではないかとこのように考えていますが、今までずっとスキー場に投資をしてきた部分、増資も含めて、いろんな経費計上してきた分、やはりどうしても町民感情としては、その予算があるのであれば、ほかの部分充実したほうがいいんじゃないかということ盛んに言われ続けてきているわけ

ですが、木地屋が赤字だったからスキー場の黒字で木地屋と一緒に運営できるようにしていこうという当初の狙いというのは、やはり異常気象というか天候そういったものに左右されて、またスキー人口も減ってきてというふうにして状況も変わってきている。であるならば、夏場の活用、秋本議員も過去に一般質問とかされていますけれども、夏場の活用とかそういったことも視野に入れていきながら、来季、来シーズン営業すると、指定管理も投げているので指定をさせていただいていますので、その期間中は運営をやっていくんだよという、そういう決意がおありであるようなので、であるならば、もっとスキー場のスキー部門だけじゃなくて、ほかのことをやっていくということが果たしてできないのかとか、有害鳥獣の駆除の関係もありますし、いろんな視野を持って本当に心から調査と研究を外部ではなく、もう五ヶ瀬の人間に判断できる部分が多いので、そういったところを議論する一年にさせていただきたいなというふうに思います。

この139万、来年度は139万ですけど、過去から累計したらどれだけのお金を使用料として払ってきているかという部分も、どれだけのお金をかけてきているのかという部分も含めて、今後をしっかりと見据えていかないといけないというふうに思っておりますので、有意義な一年という予算づけになることを願います。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。小笠まゆみ議員から質問というよりか提案非常にありがたく頂戴させていただきました。

そのスキー場についても先ほどありました指定管理者の機関、また夏場の利用についても秋本良一議員を中心に、これまでもいろんな一般質問も含めて提案もいただいているところでございます。特に管理されるのは国なので、林野庁のほうにも今のスキー場パーキングセンターからスキーセンターに連絡する道路のあり方についても、やはり夏場の利用を考えた場合には、どうしてもあそこを活用せざるを得ませんので、県議会の意見交換の折にも甲斐議長、私からも管理道路のあり方整備についてもお願いをして、林野庁にも話はいつているふうでございます。まあ、急にはなかなか展開ができないというこの行政の流れで悔しさも感じてはいますが、やはり夏場の利用も含めてしっかり議論をしていくと。

それから、ジビエ関係の交流拡大についても、また改めてモデル事業を今回やろうということで予算立てもやっていますので、そういったことも踏まえて、やはりあの地域が向坂山地域の国有林はやはり貴重な資源というのもあるわけですし、また地域の方々も一生懸命頑張っていってらっしゃいますので、そげんともやっぱり一緒に知恵出ししながらともに打開策を練っていくというのを考えています。

また、議会の議員の皆様とも積極的に意見交換、2年度はさせていただいて、こちらの情報は全部開示しながらいろいろ御意見を賜っていきたいと思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 国が管理をするという部分で我々にとっては非常にありがたい部分もあるのは確かです。ただ、関係者以外立入禁止となっているパーキングセンターから先の道路も、実際は知っていらっしゃる方は高地トレーニングの場所として走っていらっしゃるという方も過去にお見受けしたこともあるんですが、やはり要望のあるコーチトレーニングのコースとかそういうことも含めて、町長は一般質問の答弁のときに、目的が明らかでない段階で国有林の払い下げは考えていないというふうな答弁をいただいたんですけども、目的はつくればできるので、いろんな意味でしっかりと運用できるような部分があれば今、いろんな形で国のほうにもお願いに行きやすい環境というのがありますので、我々も要望に行くというそういう手段もとれますので、そういった部分しっかりと検証できる一年でありたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。2番、佐藤成志議員。

○議員（2番 佐藤 成志君） 69ページになります。林業費の中に上から4項目、5項目のところにあります。森林施業支援事業補助金1,000万、それと林業・木材産業成長化促進対策交付金事業ということで900万計上されております。この2つについてどこに出す補助金なのか、またどこに出す交付金なのか教えてもらいたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。佐藤成志議員の御質問にお答えいたします。

負担金補助及び交付金の中の林業施業支援事業補助金につきましてですけれども、これにつきましては、森林整備事業に対する町単の上乗せ支援ということでありまして、造林とか下刈とか防護柵等の事業に対する支援事業でありまして、森林組合のほうに支出しているものでございます。

それから、林業・木材産業成長化促進対策交付金事業でございますけれども、これにつきましては、高性能林業機械の導入ということで、機械等の補助の支援ということになります。一事業体の支援ということになります。業者さんのほう、はい、以上です。

○議長（甲斐 政國君） 2番、佐藤成志議員。

○議員（2番 佐藤 成志君） 今の林業成長のほうの900万については、林業家への補助・交付ということになるんですか、林業家いわゆる林業をされている人たちへ。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。はい、林業機械の補助。グラップル付トラックとい

うことで、事業体です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） また一般会計になります。30ページでございます。総務費総務管理費の中に中ほどよりちょっと下にタブレットシステム賃借料というものが上がっております。議会は非常にタブレットを導入して活用し、また議員各員もタブレット導入を機会にさらに士気が上がってというふうに私自身日々感じているところなんです。執行部に当たりましては、昨年導入されてこの定例会にもまだおそろいでない、いつ議会に持って入れるかというところを踏まえての質問になるんですが、どういった活用をされようと思ってる賃借料計上でしょうか。

○議長（甲斐 政國君） 総務課長。

○総務課長（戸高 勝洋君） 総務課長です。タブレットにつきましては、今年度導入して各管理職等に配付している状況であります。内容的にはスケジュール管理とかもできるんですが、ただ庁舎内職員については、今基準を置いておりますコンピューターの中に当然スケジュール管理ができますので、特にタブレットで管理するという必要もございませんが、あとは導入の目的でありますペーパーレスでありますとか、当然議会にも持って入りまして使える分には使っていくということですが、まだ使用の頻度とか操作性についてはまだ勉強が必要でございますので、できるだけ早い時期に議会等にも使いたいと考えておりますが、まだちょっとその段階にはないというふうに思っていますので、もし3月議会の導入には間に合わなかった状況にあります。ただ一応申し込んで使用についてなれていっている状況であると思っています。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 皆さん方もパソコンを使ってという部分が非常に大きく日々の活用という部分になっているのですが、このタブレットというのは、やっぱり危機管理に非常に有効であるなというふうにも考えております。そういった部分も含めて一日も早く皆さん方でこの議場で発信をすれば、手元にページをめくらずともその情報も行きますし、時間の短縮そういった部分も時間の有効活用という部分も含めていろんな意味で導入した以上は活用していくことが望ましいのではないかなというふうに思っておりますので、一日も早く皆さんとともに、この議場でも活用ができる、そして発災時そういったものにも情報を共有できるというシステムがありますので、そういったところまで早目に同じような状態になっていけることを望みます。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。57ページであります。衛生費保健衛生費の中の負担金補助及び交付金の中での一番下の段の給水施設の整備事業の補助金について、ど

ういった利用ができるのかお尋ねしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 建設課長。

○建設課長（田原 昭生君） 済みません、建設課長です。秋本議員の御質問にお答えします。

これは、環境衛生費のほうに組んである給水施設等整備事業補助金につきましては、予算のほうはこちらに組んでありますけど、事業自体は建設課のほうでとり行っております。これ、昨年からの事業で、水道未普及地域とか旧施設給水地域においての軽微な水道設備に対する補助金ということで、補助対象経費の3分の2で上限が100万円の事業になっています。一応、暫定的な予算ということで100万円ということで組んでいますので、要望等が上がり次第、補正等で対応していきたいと思っています。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本です。元年度から事業費として組まれたということでありますが、できれば元年度どのくらいの利用があったかお尋ねしてよろしいでしょうか。

○議長（甲斐 政國君） 建設課長。

○建設課長（田原 昭生君） 建設課長です。詳細には何件っていうのがちょっと正確に言えませんがこの場で控えさせていただこうと思いますけど、また内容につきましては、いつでも提示できるようにしておきますので、建設課のほうでお教えします。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 非常にこの事業費としては、団体といいますか大きな水道組合とかそういった形でない一件二件のところも利用できる非常にいい事業の補助金だなというふうに思っておりますが、3分の2負担ということであります。できましたら、今後の検討といたしまして、一戸の住宅でも使えるようなそうしたところも実際にお話を聞いておりますので、そうしたことにつきましても御検討いただきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。一般会計当初予算です。64ページですが、負担金補助及び交付金のところで一番下のほうに多面的機能支払交付金がございます。この多面的というのはどういった部分のことを指しているのでしょうか。御説明をお願いします。

○議長（甲斐 政國君） 建設課長。

○建設課長（田原 昭生君） 建設課長です。綾議員の御質問にお答えします。

多面的機能支払交付金というのは、平成28年度からずっと実施されておる事業で、地域の共

同活動による農地とか水路等の適正管理を支援ということで、用水路の草切りとか農道の草切りとかいうのに対して、農林課のほうで中山間地域等直接支払事業っていうのがありますけど、それと並行しながらやる事業で、令和2年度からが新しい対策ということで上げておるところです。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。——ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

お諮りします。ただいまの7件につきましては、8人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、ただいまの7件につきましては、8人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

○議長（甲斐 政國君） 引き続き、特別委員の選任を行います。

お諮りします。特別委員の選任については、委員会条例第7条の規定によって、お手元に配りました名簿のとおり指名したいと思えます。あわせて、正・副委員長について議長において指名したいと思えますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、特別委員はお手元に配付しました名簿のとおり選任することに決定しました。

委員会の正・副委員長については、委員長に甲斐松男議員、副委員長に小笠まゆみ議員の両名を指名いたします。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、委員長に甲斐松男議員、副委員長に小笠まゆみ議員の両名に決定しました。なお、本特別委員会の設置期間につきましては、第1回定例会が閉会するまでのものであります。予算審査特別委員会の委員長は、3月19日の本会議において審査の決定を報告願います。

○議長（甲斐 政國君） 以上で、本日の日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。次回は3月19日午後2時から開会しますので定刻までに御参集

ください。どうも御苦労さまでした。

○事務局長（垣内 広好君） 御起立ください。一同、礼。お疲れさまでした。

午前10時58分散会

4 日 目

令和2年第1回五ヶ瀬町議会定例会会議録

(最終日)
令和2年3月19日

○会議に付した事件

- 日程第 1. 諸般の報告
- 日程第 2. 議案第4号
五ヶ瀬町男女共同参画社会づくり推進条例の制定について
- 日程第 3. 議案第5号
五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 日程第 4. 議案第6号
公の施設に関する条例の一部改正について
- 日程第 5. 議案第7号
五ヶ瀬町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について
- 日程第 6. 議案第8号
五ヶ瀬町簡易水道給水条例の一部改正について
- 日程第 7. 議案第9号
平成31年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第5号)について
- 日程第 8. 議案第10号
平成31年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)について
- 日程第 9. 議案第11号
平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
- 日程第10. 議案第12号
平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)について
- 日程第11. 議案第13号
平成31年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算(第4号)について
- 日程第12. 議案第14号
令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算について
- 日程第13. 議案第15号
令和2年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計予算について
- 日程第14. 議案第16号
令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計予算について
- 日程第15. 議案第17号
令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計予算について
- 日程第16. 議案第18号
令和2年度五ヶ瀬町介護保険特別会計予算について
- 日程第17. 議案第19号
令和2年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計予算について
- 日程第18. 議案第20号
令和2年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算について
- 日程第19. 議案第21号
Gパーク宿泊施設の指定管理者の指定の変更について

- 日程第 20. 議案第 22 号
町長において専決処分をすることができる事項の指定の変更について
- 日程第 21. 議案第 23 号
五ヶ瀬町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の認定について
- 日程第 22. 議案第 24 号
定住自立圏形成協定の一部変更について
- 日程第 23. 議案第 25 号
五ヶ瀬町町営住宅管理条例の一部を改正する条例について
- 日程第 24. 議案第 26 号
五ヶ瀬町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例について
- 日程第 25. 発議第 1 号
五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定について
- 日程第 26. 発委第 1 号
防災・減災、国土強靱化のための 3 か年緊急対策事業等の期間延長を求める意見書を国に提出することについて
- 日程第 27. 発委第 2 号
社会資本の整備促進を求める意見書を国に提出することについて
- 日程第 28. 発委第 3 号
新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書を国に提出することについて
- 日程第 29. 発議第 2 号
議員派遣について
- 日程第 30. 委員会の閉会中の継続調査について

○ 出席議員（８名）

1 番 渡邊 孝 議員	2 番 佐藤 成志 議員
3 番 綾 健一 議員	4 番 秋本 良一 議員
5 番 白瀧 徹哉 議員	6 番 甲斐 松男 議員
7 番 小笠まゆみ 議員	9 番 甲斐 政國 議員

○ 欠席議員（なし）

○ 地方自治法第 121 条の規定により、事件説明のため出席を求められたものは、次のとおりである。

五ヶ瀬町長	原田 俊平
教 育 長	猪野 貴一
監 査 委 員	菊池 孝男

○ 町長の委任を受けて説明のために出席したものは、次のとおりである。

副 町 長	宮崎 信雄	農 林 課 長	廣本 憲史
総 務 課 長	戸高 勝洋	建 設 課 長	田原 昭生
企 画 課 長	小迫 幸弘	まちづくり推進室長	丸田喜久夫
会 計 室 長	北島 隆二	町 民 課 長	齊家 晃
教 育 次 長	甲斐津世志	福 祉 課 長	武内 秀元
病院事務長	奥村 和平		

○ 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	垣内 広好

午後 2 時00分開議

○事務局長（垣内 広好君） 御起立ください。一同、礼。御着席ください。

○議長（甲斐 政國君） ただいまから本日の会議を開きます。

日程第 1. 諸般の報告

○議長（甲斐 政國君） 日程第 1、諸般の報告を行います。

五ヶ瀬町議会BCP（業務継続計画）については、お手元に配付しております計画書のとおりですが、策定の経緯及び計画の概要について、報告いたします。

BCPとはBusiness Continuity Planを略したもので、業務継続計画のことを言います。

これまで、2011年3月の東日本大震災、2016年4月の熊本地震や豪雨災害など大規模な災害に見舞われた際に、住民の生命・身体及び財産を守る役目を果たす地方自治体が、その機能を失うという危機的な状況に陥ってきました。

また、このような中、専決処分が多く行われるなど、二元代表制の一翼である議会の基本的な機能が果たせなかった経緯と教訓から、行政サイドにおける業務継続計画とは異なる議会及び議員の災害時における行動指針や、議会再開へ向けた対応を定めた議会独自の業務継続計画策定の必要性が、全国的にクローズアップされてきたところであります。

我々五ヶ瀬町議会におきましても、その重要性と必要性を感じ、令和元年における活動テーマの一つとして、五ヶ瀬町議会BCPの策定に取り組んでまいりました。策定までに、視察研修を2回、策定の協議・検討を計4回行っております。

まず、令和元年6月24日に、議会全員協議会において策定方針の確認と視察先の選定を行いました。

令和元年7月4日から5日にかけて、宮城県南三陸町議会において、東日本大震災時の議会及び議員の対応、議会における災害対応指針、災害対策行動マニュアルや町災害対策本部と議会とのかかわりについて政務調査を行いました。

また、令和元年10月11日には、日南市議会において、日南市議会BCP（業務継続計画）における策定の経緯や市災害対策本部と議会との関係について、議会の防災訓練について、災害時のタブレットの活用について行政視察を行いました。

計画の概要として、14ページの五ヶ瀬町議会BCPイメージ図、21ページの五ヶ瀬町議会BCP（業務継続計画）にありますように、まず最優先に自分の命、家族の安全を守ること、安否確認を含め常に事務局と連絡がとれるようにすること、議会からの招集があるまでは地域活動と情報収集を行うこと、行政機関へ直接、連絡や要望を行わず、災害対策会議を通し提供する

こととし、議会災害対策会議を通して町対策本部と連携、連絡をとりながら議会再開へ向けての情報共有、協議を行います。

また、安否確認、情報収集、情報提供においてはタブレット機能を活用することとし、タブレット端末携行の意識づけや操作の習熟、議会災害訓練及び計画の見直しについても記載しております。

議会におけるBCPは、県内の町村議会において本議会が初の策定となります。これを機に、防災・減災意識の向上を初めさまざまな活動における議会活性化の一助となることを望みます。

以上、五ヶ瀬町議会BCP策定における報告といたします。

日程第2. 議案第4号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第2、議案第4号五ヶ瀬町男女共同参画社会づくり推進条例の制定についてを議題とします。

本件については、去る3月3日、提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから本件について、討論を行います。討論がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。議案第4号五ヶ瀬町男女共同参画社会づくり推進条例の制定については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第3. 議案第5号

日程第4. 議案第6号

日程第5. 議案第7号

日程第6. 議案第8号

○議長（甲斐 政國君） 次に、お諮りします。日程第3、議案第5号五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正についてから、日程第6、議案第8号五ヶ瀬町簡易水道給水条例の一部改正についてまでの4件は、これを一括議題としたいと思っております。これに御

異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、日程第3、議案第5号から日程第6、議案第8号までの4件は、これを一括議題とすることに決定しました。

本4件については、去る3月3日、提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。議案名を示して発言してください。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから本4件について、討論を行います。討論がありましたら、議案名を示して発言してください。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決いたします。議案第5号五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第6号公の施設に関する条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第7号五ヶ瀬町使用料及び手数料徴収条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第8号五ヶ瀬町簡易水道給水条例の一部改正については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されまし

た。

日程第7. 議案第9号

日程第8. 議案第10号

日程第9. 議案第11号

日程第10. 議案第12号

日程第11. 議案第13号

○議長（甲斐 政國君） 次に、お諮りします。日程第7、議案第9号平成31年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（第5号）についてから、日程第11、議案第13号平成31年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（第4号）についてまでの5件は、これを一括議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、日程第7、議案第9号から日程第11、議案第13号までの5件は、これを一括議題とします。

本5件については、去る3月3日、提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑に入ります。質疑がありましたら、議案名、ページ等を示して発言してください。質疑がありましたらどうぞ。4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 4番、秋本良一です。補正予算の21ページの農林水産業費の農業費の中での畜産業費で、負担金補助及び交付金の中で、83万の減額となっておりますが、この要因についてお尋ねしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。負担金及び交付金の89万についての内容ですけれども、説明にありますとおり、各種事業の不用額の減ということになります。ここにありますが、事業につきましても6事業ですかね、ということで、合計であります。具体的に、実績に伴う不用額の、落としたという状況でございます。

○議長（甲斐 政國君） 4番、秋本良一議員。

○議員（4番 秋本 良一君） 減額ということでございますので、この減額になったことによる飼育農家の減少によるものか、そこをちょっとお尋ねしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 飼育農家の減少と申しますより、支出等につきましては、要望に伴う事業費の減額とかいう形で事業費が減額している部分でありまして、あと、導入事業等がございますので、今回導入の実績が予定していた予算よりは減額になった、実績が少なくなった分で

ですね、減額しているということでございます。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。一般会計補正予算書の21ページになります。その農業振興費ですかね、ここで産地パワーアップ事業補助金の減となっておりますが、要望者が減ったことによる減でしょうか。御説明をお願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。綾議員からの産地パワーアップ事業の補助金についてでございますけれども、これにつきましては、本年度、茶工場並びに機械の導入、ぶどう棚ですね、等の計画をしております、その事業実施の折の入札の残に伴う減額ということでございます。

○議員（3番 綾 健一君） 入札金残ということで。

○農林課長（廣本 憲史君） はい、そうです、に伴う減額ということでございます。

○議員（3番 綾 健一君） はい、わかりました。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 皆さんとりあえず、発信したら、議長、執行側にも行きますか、データ。

とりあえずですね、一般会計補正予算の13ページになります。

1回通知をしてみましよう。今通知をいたしました、執行側に流れているかちょっと不明ですが。

下のほうの不動産売り払い収入の中に、その他不動産売り払い収入706万7,000円が計上されております。それをちょっと頭においていただいて、その次に、また通知をいたしますが、23ページ、増築費の中に委託料998万7,000円ですかね、搬出間伐委託料という数字が出ております。間伐の補助金も入るということになっているようですが、これ多分、新庁舎絡みの伐採そして収入手数料といった一連の流れではないかと思うんですけれども、ほかのものも含まれているという可能性もありますし、もくみに直接搬入されているのかということも踏まえて、この数字の内訳を教えてくださいとありがたいです。

○議長（甲斐 政國君） 総務課長。

○総務課長（戸高 勝洋君） 総務課長です。不動産売り払い収入のその他不動産売り払い収入の件でございますが、706万7,000円につきましては、もくみへの売り払い収入でございます。

それと造林費の委託料998万7,000円につきましては、搬出間伐の手数料ということで、森林組合のほうに支出しているものでございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） ということは、700万のほうがもくみへ売り払った分、それ以外のものは森林組合のほうに搬出されて、またそこで売り上げが発生するという考えでよろしいですかね。もくみに全量出されたということじゃないと思うんですよね、森林組合のほうにも搬出があったというふうに捉えていいんですか。もくみだけですか、全量。まあ要は、何が言いたいかという、委託した金額からして収入の部分が200万近く差がというか、損をしている計算になるわけですね。なので、森林組合のほうに、もくみに搬入した分以外、もくみへ売った分以外に森林組合の市に出された分があるというふうに捉えていいということですか、という質問です。要は、ほかに材の収入が上がってくるんですか、それとも間伐補助金だけで終わるんですかということです。（発言する者あり）

○議長（甲斐 政國君） 7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） ここであやふやな返答、もしくは、数字を出されるよりも、後の時間で構いませんので、このもくみに町有林を売った分、森林組合に搬出した分、そういったものがわかった時点、または今も搬出中であるというようなことも踏まえて、後で報告をいただくということでも構いません、総務課長。

○議長（甲斐 政國君） 総務課長。

○総務課長（戸高 勝洋君） わかりました、森林組合等々の収入収支の件につきまして、また後で報告させていただきます。

○議員（7番 小笠まゆみ君） お願いします。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。5番、白瀧徹哉議員。

○議員（5番 白瀧 徹哉君） 5番、白瀧徹哉です。一般会計補正予算書の農林業費、済いません22ページになります、済いません、地籍調査費の1,163万5,000円が減額をされておりますが、この詳細については報酬とか賃金等に記載をしておりますけれども、どうしてこういったことになったのかということと、まあ詳細についてと、今後、事業の進捗にどのような影響が出てくるのかも含めて、もしありましたらお伺いしたいと思います。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 農林課長です。白瀧徹哉議員の御質問にお答えさせていただきます。

地籍調査につきましては、今回県からの補助金につきまして、70%の予算割り当てということですね、それに伴います30%の減額ということで、それぞれ報酬・賃金・委託料・使用料及び賃借料というところで減額をさせていただいております。

例年この時期になります、本来12月等の補正予算で計上したいところでございますけれども、事業費の確定がなかなかこの時期になってしまいまして、今回3月で調整させていただいたということでございます。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 農林課長。

○農林課長（廣本 憲史君） 事業に関する影響ということですが、今年度の予定につきましては、一筆調査については、調査は予定どおり行うということで、測量業者の行う測量につきましては、一部2年度のほうで予算づけをしていただくような形に調整をしているところでございます。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。3番、綾健一議員。

○議員（3番 綾 健一君） 3番、綾健一です。一般会計補正予算書の19ページになります。上のほうに、重度心身障害者医療費助成金の減とありますが、これは必要とされる方が減ったことによる減でしょうか。（ ） お願いします。

○議長（甲斐 政國君） 福祉課長。

○福祉課長（武内 秀元君） 福祉課長です。綾議員の御質問にお答えいたします。

おっしゃるとおり、申請が少なかったということの減額になります。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。ありませんか。

質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから本5件について、討論を行います。討論がありましたら議案名を示して発言してください。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。議案第9号平成31年度五ヶ瀬町一般会計補正予算（第5号）については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第10号平成31年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されまし

た。

次に、議案第11号平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第12号平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算（第4号）については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第13号平成31年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算（第4号）については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第12. 議案第14号

日程第13. 議案第15号

日程第14. 議案第16号

日程第15. 議案第17号

日程第16. 議案第18号

日程第17. 議案第19号

日程第18. 議案第20号

○議長（甲斐 政國君） 次に、お諮りします。日程第12、議案第14号令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算についてから、日程第18、議案第20号令和2年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算についてまでの7件は、これを一括議題としたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、日程第12、議案第14号から、日程第18、議案第20号までの7件は、これを一括議題とします。

本7件については、去る3月9日、予算審査特別委員会に付託し、審査を行っておりますので、審査の結果について委員長からの報告を求めます。予算審査特別委員会、甲斐松男委員長、御登

壇願います。

○**予算審査特別委員長（甲斐 松男君）** 予算審査特別委員長の甲斐松男です。本特別委員会は令和2年3月9日から13日までの5日間、付託された各議案について、関係職員から詳細な説明を受け、慎重に審査を行いました。

その結果、全ての議案について、全員賛成で、意見を付して原案を可決すべきと決定しましたので、会議規則第77条の規定により報告いたします。以下、審査意見を述べ、委員長報告いたします。

一般会計

1、総務課所管事業について

行政グループが掲げる公民館・地域組織のあり方の検討推進については、人口減少、高齢化、少子化の観点からそれぞれの地域の将来像を見据え、組織再編を最重点課題として取り組むこと。

財務グループは、新庁舎建設や無線デジタル化など多額の費用を要する事業が計上されている。予算総額が増加したことで当初予算では計上されなかった事業が見られる。補正予算対応などで、事業推進を図ること。

地域情報グループの消防団員確保については、少数になっている団もあり、タイミングを見てその再編を行うことを望む。

会計年度任用職員について

令和2年度より、会計年度任用職員に対する人件費が計上されている。対象者78名分に対する人件費増加となっている。引き続き働きやすい職場環境を整えるため、必要に応じて増員するなどの対応を望む。

デジタル防災無線について

新庁舎への移転と防災無線のデジタル化が同時期となるが、現庁舎に設置後、新庁舎に移転する費用が2,067万円計上されている。新庁舎での試運転ができないものか再度検討すること。

2、福祉課所管事業について

総合がん検診や若者検診など新規事業が組み立てられているが、どの検診でも周知徹底し、募集人員を満たすよう努力願いたい。どの事業も重要であり、一人の町民も取り残さない持続可能な事業推進を図られたい。また、専門職の必要性がある場合は、早急に対応されたい。

福祉センターについて

屋根補修工事設計委託料260万が計上されている。安全性を考慮し、施設を長く利用できる環境を整えること。

社会福祉協議会の運営については、厳しい状況になっているように見られるが、その本来の目

的が推進できるよう、指導・協力すること。

3、農林課所管事業について

今回発生した新型コロナウイルス感染症の影響や阿蘇山の降灰被害、異常気象による弊害等を注視し、その対応及び支援について柔軟に取り組むこと。

新規就農など、若者の支援が充実してきている一方で、現状では高齢者が中心となった営農である。安定した収入と所得向上はもちろん、今後の農業のあり方、新しい営農などの可能性を、第1次産業プロジェクトチームの重要課題と捉えて課題解決に臨むこと。

林業関係においては、森林環境譲与税の活用を計画的に行うこと。

新たなジビエの取り組みが企画課で上がっているが、有害鳥獣対策を構築することを望む。

有害鳥獣捕獲指導員については、1名増員されるよう行政主導で検討されること。

4、企画課所管事業について

ジビエの取り組みが、新たな産業となるよう期待する。

高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会及び高千穂郷ツーリズム協会への負担金が毎年計上されているが、その活動が浸透していないように感じるため、活動報告の周知を望む。

五ヶ瀬ハイランド決算と今後の方針などについて、一人でも多くの町民への説明責任を果たすこと。

第三セクター貸し付け金が1,000万円増額となっている。暖冬と新型コロナウイルスの影響が出ている中、貸付については目的にあった判断を行い、国の制度活用などの検討を望む。

5、建設課所管事業について

貫原橋工事完成に伴い、社会資本整備総合交付金が多方面にわたり活用される予算となっている。今後も優先順位を明確にし、地域住民の期待に配慮した事業推進を図ること。

新庁舎建設着工の運びとなるが、工事完成までくれぐれも安全に留意し、町民の期待する庁舎が完成することを望む。

6、教育委員会所管事務について

令和2年度は国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭みやざき大会が本県開催となっており、11月には風流ごかせフェスタが本町で開催される。五ヶ瀬町の文化を世界へ向けて発信できる重要なイベントであると考え。早期からの計画を行い、町民だけでなく広く周知を図り、万全な体制で臨みたい。

学校教育に関しては、学校職員や教育委員会の努力のもと成果があらわれているが、今後は五ヶ瀬グランドビジョンの検証も行いつつ、五ヶ瀬にいても離れていても五ヶ瀬に思いを寄せることのできる人材育成を引き続き望む。

また、心豊かな生涯を送るための一つとして、社会教育に力を入れていただきたい。

五ヶ瀬町簡易水道特別会計

水道整備について

町民からの要望の有無にとらわれず、積極的に事業推進することを望む。

五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計

病院の運営について

西臼杵地域公立病院部会が設置され、さまざまな分析を行っているが、令和2年度以降は問題点を解決し、どのような形態が望ましいかを見きわめる重要な年度である。基本構想をつくる段階においては、町民の理解を求めて、安心して暮らせるまちづくりに臨むこと。

五ヶ瀬町奨学金特別会計

奨学金の有効活用について

現在は、4年制大学生のみの対象となっているが、短期大学・専門学校などへも対象枠を広げられないか、再度検討を願う。

その他の事項

新型コロナウイルス感染症対策について

現在、新型コロナウイルス感染症の影響が多方面に見られる。今後、各部署において衛生用品の確保、備蓄を行うことを望む。また、長期間にわたる可能性があり、その影響は大きい。それぞれの部署において、関係町民に対し、最善の支援が行われることを願う。

以上、予算審査特別委員会の報告といたします。

○議長（甲斐 政國君） これで、予算審査特別委員長の報告が終わりました。

お諮りします。ただいまの委員長報告の質疑については、全員議員が委員となっておりますので質疑は省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、ただいまの委員長報告に対する質疑につきましては、省略することに決定しました。

これから本7件について、討論を行います。討論がありましたら、議案名を示して発言をしてください。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。議案第14号令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されまし

た。

次に、議案第15号令和2年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計予算については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決しました。

次に、議案第16号令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計予算については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第17号令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計予算については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第18号令和2年度五ヶ瀬町介護保険特別会計予算については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第19号令和2年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計予算については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第20号令和2年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第19. 議案第21号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第19、議案第21号Gパーク宿泊施設の指定管理者の指定の変更についてを議題とします。

本件については、去る3月3日、提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから、本件について討論を行います。討論がありましたらどうぞ。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。議案第21号Gパーク宿泊施設の指定管理者の指定の変更については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第20 議案第22号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第20、議案第22号町長において専決処分をすることができる事項の指定の変更についてを議題とします。

本件については、去る3月3日、提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。（「ありません」と呼ぶものあり）7番、小笠まゆみ議員。

○議員（7番 小笠まゆみ君） 専決処分、先ほど町長からコロナウイルスに関する説明を受けました。その中で、新たな予算が計上される可能性という部分で、その中の発言に、臨時会を開くとか専決処分を行う可能性があるというお話をいただきました。適切に対応をしていただきたいという思いで、再度念押しのお話であります。

いつも頭に決まり文句ですけど、議会を招集する暇がなかったので、とかいう表現が当然あります。いつでも呼んでください。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） 町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。議案第22号に関連した小笠議員からの質問なんでございますが、先ほど議会開会前に全員協議会で、新型コロナウイルス感染症対策本部の今の取り組み状況をですね、現状のお話をさせていただきました。

ただ、まだまだ拡大、拡散の状況もございますので、経済対策も含めて、国・県の動向にあわ

せて、うちのほうも予算措置をしたいという時期が必ず来ると思います。その部分については議会の承認も要るわけですが、一通り議会のほうには説明しながら、必要な場合は専決処分での対応をするということで御理解をお願いします。

以上です。

○議長（甲斐 政國君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから、本件について討論を行います。討論がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。

議案第22号町長において専決処分をすることができる事項の指定の変更については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第21. 議案第23号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第21、議案第23号五ヶ瀬町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の認定についてを議題とします。

本件については、去る3月3日、提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから本件について討論を行います。討論がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。

議案第23号五ヶ瀬町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の認定については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されまし

た。

日程第 2 2 . 議案第 2 4 号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第 2 2、議案第 2 4 号定住自立圏形成協定の一部変更についてを議題とします。

本件については、去る 3 月 3 日、提案理由の説明が終わっておりますので、これから質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから本件について討論を行います。討論がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。

議案第 2 4 号定住自立圏形成協定の一部変更については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第 2 3 . 議案第 2 5 号

日程第 2 4 . 議案第 2 6 号

○議長（甲斐 政國君） 次に、お諮りします。日程第 2 3、議案第 2 5 号五ヶ瀬町町営住宅管理条例の一部を改正する条例について及び日程第 2 4、議案第 2 6 号五ヶ瀬町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例についての 2 件は、これを一括議題としたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、日程第 2 3、議案第 2 5 号及び日程第 2 4、議案第 2 6 号の 2 件は、これを一括議題とします。

本 2 件について、町長から提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（原田 俊平君） 議案第 2 5 号五ヶ瀬町町営住宅管理条例の一部改正について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件は、令和 2 年 4 月 1 日から施行されます改正民法に対応するため、公営住宅入居の際に必

要としております連帯保証人の債務限度である極度額等について定めるものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほど、よろしく申し上げます。

議案第26号五ヶ瀬町特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正について、提案理由の御説明を申し上げます。

本件は、令和2年4月1日から施行されます改正民法に対応するため、特定公共賃貸住宅入居の際に必要としております連帯保証人の債務限度である極度額につきまして定めるものであります。

以上で説明を終わります。御審議のほど、よろしく申し上げます。

○議長（甲斐 政國君） ただいま提案理由の説明が終わりました。これより質疑に入ります。

質疑がありましたら、議案名を示して発言してください。質疑がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから本2件について、討論を行います。討論がありましたら、議案名を示して発言してください。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。議案第25号五ヶ瀬町町営住宅管理条例の一部を改正する条例については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第26号五ヶ瀬町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第25. 発議第1号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第25、発議第1号五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定についてを議題とします。

本件について、提出者、議会運営委員会白瀧徹哉委員長に提案理由の説明を求めます。

○議会運営委員長（白瀧 徹哉君） 議会運営委員長の白瀧徹哉です。

発議第1号五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定について趣旨説明を申し上げます。

議員報酬及び議員の期末手当に係る支給額については、五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例で定められていますが、議員の職責及び町議会への町民の信頼の確保に鑑み、議員が疾病、その他の事由により、長期間、町議会の会議等を欠席することを余儀なくされた場合、欠席期間に応じ、議員報酬等を減額する旨の条例を新たに制定したく本提案をするものでございます。

以上で趣旨説明を終わります。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） ただいま提案理由の説明が終わりました。

これから質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから本件について討論を行います。討論がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。

発議第1号五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第26. 発委第1号

日程第27. 発委第2号

○議長（甲斐 政國君） 次に、お諮りします。

日程第26、発委第1号防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策事業等の期間延長を求める意見書を国に提出することについて及び日程第27、発委第2号社会資本の整備促進を求める意見書を国に提出することについての2件は、これを一括議題としたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、日程第26、発委第1号及び日程第27、発委第2号の2件は、これを一括議題とします。

本2件について、提出者、総務農林常任委員長甲斐松男議員に趣旨説明を求めます。

○総務農林常任委員長（甲斐 松男君） 総務農林常任委員長の甲斐松男です。

発委第1号防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策事業等の期間延長を求める意見書を国に提出することについて趣旨説明を申し上げます。

近年、全国各地で豪雨や地震など自然災害が頻繁かつ甚大に発生しており、このような災害に備えるべく国民の生命や財産を守るために、防災・減災さらには国土強靱化を進めることは極めて重要であり、喫緊の課題だと考えます。

よって、緊急対策期間後も計画的に事業を推進すること、防災・減災等の対策に必要となる予算・財源を確保するため、緊急対策事業の期間延長及び緊急防災・減災事業債制度の拡充・恒久化を要望するものであります。

御審議のほど、よろしくお願いたします。

続きまして、発委第2号社会資本の整備促進を求める意見書を国に提出することについて趣旨説明を申し上げます。

五ヶ瀬町においてもインフラの老朽化により、今後、施設の維持管理や更新に多額の経費が必要なが見込まれています。効率的な老朽化対策を進めるためには、社会資本整備が計画的に進められることが重要であります。

よって、国に対して必要な予算や人材の確保を強く要望するものであります。

御審議のほど、よろしくお願いたします。

○議長（甲斐 政國君） ただいま趣旨説明が終わりました。

これから、ただいまの趣旨説明に対する質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから本2件について討論を行います。討論がありましたらどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。発委第1号防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策事業等の期間延長を求める意見書を国に提出することについては、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、発委第2号社会資本の整備促進を求める意見書を国に提出することについては、原案の

とおりの決定することに賛成の方は起立を願います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第28. 発委第3号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第28、発委第3号新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書を国に提出することについてを議題とします。

本件について、提出者、文教福祉常任委員長小笠まゆみ議員に趣旨説明を求めます。

○文教福祉常任委員長（小笠まゆみ君） 文教福祉常任委員長の小笠でございます。

まず最初に、ここに飾ってありますラナンキュラス、これは議会全員で、きょうラナンキュラスを購入させていただいたんですが、生産者の方からいただきましたので、皆様方に御紹介をしておきます。

発委第3号新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書の提出について趣旨説明を申し上げます。

新型コロナウイルスによる感染症が世界各地に拡大し、事態の収束が見えない中、国民の不安は増大する一方であり、国と地方自治体が一体となって、迅速かつ適切な対策を講じていく必要があります。

また、キャンセルが相次ぐ観光関連産業やイベント中止などによる地域経済への影響は、深刻なものとなっています。

よって、小規模事業者への支援策や雇用対策、地方自治体を実施する感染症対策への必要な支援について、国に対して要望するものであります。

御審議のほど、よろしく願いいたします。

○議長（甲斐 政國君） ただいま趣旨説明が終わりました。

これから、ただいまの趣旨説明に対する質疑に入ります。質疑がありましたらどうぞ。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（甲斐 政國君） 質疑がないようですから、これにて質疑を終結します。

これから、本件について討論を行います。討論がありましたらどうぞ。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（甲斐 政國君） 討論なしと認めます。

これから起立によって採決します。発委第3号新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書を国に提出することについては、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願

います。

[賛成者起立]

○議長（甲斐 政國君） 全員起立であります。したがって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第29. 発議第2号

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第29、発議第2号議員派遣についてを議題とします。

お諮りします。議員派遣につきましては、会議規則第122条の規定により、お手元に配付しておりますとおりに派遣することにしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、お手元に配付しておりますとおりに議員を派遣することに決定しました。

日程第30. 委員会の閉会中の継続調査について

○議長（甲斐 政國君） 次に、日程第30、委員会の閉会中の継続調査についてを議題とします。

お諮りします。各常任委員会委員長、各特別委員会委員長、議会運営委員会委員長及び議会広報編集委員長から、会議規則第75条の規定により、お手元に配付しておりますとおりに、閉会中の継続調査の申し出がありました。各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（甲斐 政國君） 異議なしと認めます。したがって、各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

これで、本定例会に付された議事の全部を終了しました。会議を閉じます。

議員各位におかれましては、去る3月3日の開会以来、17日間にわたり熱心に御審議をいただき、まことにありがとうございました。

町長を初め、町当局の皆様には会期の間、常に真摯な態度を持って審議に御協力をいただき、ありがとうございました。

議員各位から述べられました意見なり要望事項につきましては、特に御配慮いただき、執行の上に十分反映されますよう、お願い申し上げます。

ここで、町長の挨拶をお願いいたします。町長。

○町長（原田 俊平君） 町長です。それでは私のほうから、定例会終了に当たりまして、執行部

を代表し一言御挨拶を申し上げます。

まずは、本定例会に御提案申し上げました全ての案件につきまして慎重審議をいただき、また、御承認をいただきました。そのことに心からお礼を申し上げます。

今回の定例会では、令和2年度新年度予算案を審議、決定をいただきました。議会の冒頭にもお話しさせていただきましたとおり、本町の財政状況の改善の兆しはあるものの、構造的に依存財源に頼った脆弱で不安定な財政環境であります。

したがって、長期的視点に立った計画的な事業推進と持続可能な財政経営に努めることが、我々行政に課せられた使命であると考えております。

そのような中、新年度の予算編成には大変苦勞いたしました。役場新庁舎建設、防災無線行政情報伝達システム構築などの大型プロジェクト事業を含みます、大型予算編成となったところでございます。

ただ、世界、日本または西臼杵管内でも、感染の拡大が懸念されております新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により、本町でもあらゆる分野で景気衰退の影響が出ておりますので、感染症の拡大防止に努めながらも、今後必要性の高い事業につきましては、関係機関と連携しながら、年度途中においても積極的に予算措置をまいりたいというふうに考えておりますので、御理解をお願いいたします。

また、あわせて、ただいま委員長報告の中で、御指摘、御要望があった点につきましても真摯に受けとめ、担当課を含めて検討をまいりたいと考えております。

さて、令和2年度は第5次五ヶ瀬町総合計画の最終年度となります。これまでの10年間の取り組みの集大成として「ずっと五ヶ瀬やっぱり五ヶ瀬」として、言っていただくまちづくりの実践に、職員一同心がけてまいる所存でございます。

一方、次なる第6次五ヶ瀬町総合計画についても、第5次総合計画をしっかりと引き継ぎ、新年度での計画審議会の中で、しっかりと議論いただきながら策定を進めてまいります。

そのほか、インフラ整備につきましても、九州中央自動車道蘇陽～五ヶ瀬東間が国の事業評価手続も終了し、2020年度予算への事業費計上が待ち遠しい段階となっております。事業化となった折には、次年度から強化する予定としております高速道対策室を中心に、用地対策やまちづくりにつなげてまいる所存です。

結びとなりますが、議員の皆様におかれましては年度末を迎え、それぞれの地域で、また、それぞれの立場で活動がお忙しくなることと存じますが、くれぐれもお体を御自愛いただき、なお一層の御活躍を願っております。

それでは、以上をもちまして定例会終了に当たっての執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。今議会、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

○議長（甲斐 政國君） 町長には丁重な御挨拶を賜り、まことにありがとうございました。

以上をもちまして、令和2年第1回五ヶ瀬町議会定例会を閉会します。どうも御苦労さまでした。

○事務局長（垣内 広好君） 御起立ください。一同、礼。お疲れさまでした。

午後3時12分閉会

○ 令和2年第1回定例会に議した事件のてんまつは、次のとおりである。

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第 3号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	令和 2年 3月 3日	同意
議案第 4号	五ヶ瀬町男女共同参画社会づくり推進条例の制定について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第 5号	五ヶ瀬町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第 6号	公の施設に関する条例の一部改正について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第 7号	五ヶ瀬町使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第 8号	五ヶ瀬町簡易水道給水条例の一部改正について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第 9号	平成31年度五ヶ瀬町一般会計補正予算(第5号)について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第10号	平成31年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第11号	平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第12号	平成31年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第13号	平成31年度五ヶ瀬町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第14号	令和2年度五ヶ瀬町一般会計予算について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第15号	令和2年度五ヶ瀬町簡易水道事業特別会計予算について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第16号	令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険特別会計予算について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第17号	令和2年度五ヶ瀬町国民健康保険病院事業会計予算について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第18号	令和2年度五ヶ瀬町介護保険特別会計予算について	令和 2年 3月19日	原案可決
議案第19号	令和2年度五ヶ瀬町後期高齢者医療特別会計予算について	令和 2年 3月19日	原案可決

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
議案第20号	令和2年度五ヶ瀬町奨学金特別会計予算について	令和2年 3月19日	原案可決
議案第21号	Gパーク宿泊施設の指定管理者の指定の変更について	令和2年 3月19日	原案可決
議案第22号	町長において専決処分をすることができる事項の変更について	令和2年 3月19日	原案可決
議案第23号	五ヶ瀬町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の認定について	令和2年 3月19日	原案可決
議案第24号	定住自立圏形成協定の一部変更について	令和2年 3月19日	原案可決
議案第25号	五ヶ瀬町町営住宅管理条例の一部を改正する条例について	令和2年 3月19日	原案可決
議案第26号	五ヶ瀬町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例について	令和2年 3月19日	原案可決
発議第1号	五ヶ瀬町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の制定について	令和2年 3月19日	原案可決
発委第1号	防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策事業等の期間延長を求める意見書を国に提出することについて	令和2年 3月19日	原案可決
発委第2号	社会資本の整備促進を求める意見書を国に提出することについて	令和2年 3月19日	原案可決
発委第3号	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書を国に提出することについて	令和2年 3月19日	原案可決
発議第2号	議員派遣について	令和2年 3月19日	原案可決

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

年 月 日

議 長

署名議員

署名議員